

令和5年12月20日
教育研究・ICT推進課

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

1 主旨

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的として実施している。

今回、令和5年4月に実施した全国学力・学習状況調査について、令和5年9月に速報値について報告したところであるが、この度結果を分析し、課題を明らかにしたうえ今後の指導に生かすものとしてまとめたので報告する。

2 調査結果

「令和5年度 全国学力・学習状況調査報告書 概要版」及び「令和5年度 全国学力・学習状況調査報告書」のとおり。

3 今後の学校の取組み

令和5年度の全国学力・学習状況調査の結果をもとに、授業改善に向けた計画等を作成するとともに、自校の教育課程の編成に生かす。

4 今後のスケジュール

- 12月 各学校に報告書を送付
- ホームページに報告資料を掲載

令和5年度 全国学力・学習状況調査報告書（概要版）

1 調査概要

調査日時： 令和5年4月18日（火）

調査事項： 児童 教科調査[国語、算数]、質問紙調査
 生徒 教科調査[国語、数学、英語]、質問紙調査
 学校 質問紙調査

調査対象 区立全小学校第6学年児童及び区立全中学校第3学年生徒

	調査学校数	実施学校数	（実施率）	参加児童生徒数
世田谷区立小学校	61校	61校	（ 100.0% ）	6,007人
世田谷区立中学校	29校	29校	（ 100.0% ）	3,588人

2 教科に関する調査結果概要

世田谷区・東京都・全国の平均正答率

小学校	国語	算数
世田谷区	73.0%	72.0%
都（公立）	69.0%	67.0%
国（公立）	67.2%	62.5%

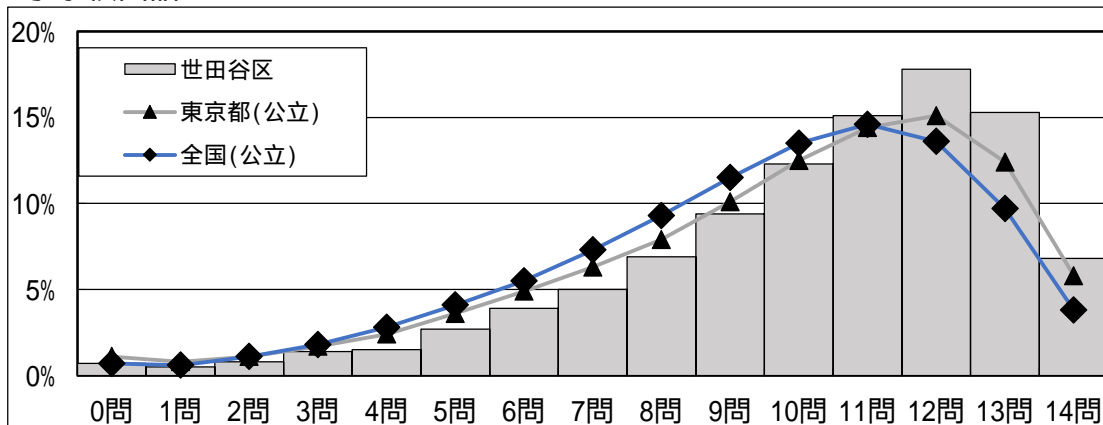
中学校	国語	数学	英語
世田谷区	73.0%	57.0%	57.0%
都（公立）	72.0%	54.0%	52.0%
国（公立）	69.8%	51.0%	45.6%

世田谷区の平均正答率は、すべての教科において、都(公立)、国(公立)よりも高い。

教科に関する調査結果 正答数の分布（縦軸：児童生徒の割合 横軸：正答数）

国語

小学校国語



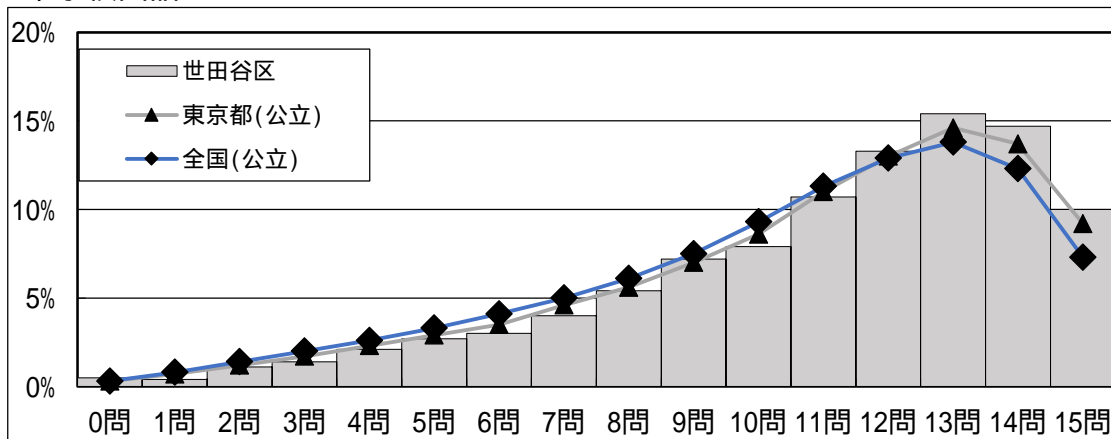
児童の割合が最も高くなっている正答数は、12問(全14問)である。

正答率の高い設問は「【川村さんの文章】の下線部Iを、送り仮名に気を付けて書き直したものと適切なものを選択する(くらべて)」である。(区94.6% 都93.0% 全国93.1%)

正答率の低い設問は「【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く」である。(区29.7% 都28.9% 全国26.7%)

都や全国と比べると低くはないが、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。図表やグラフなどを用いた文章を提示することで、考えを深めやすく、相手にとって理解しやすくなることを実感できるように指導することが重要である。

中学校国語



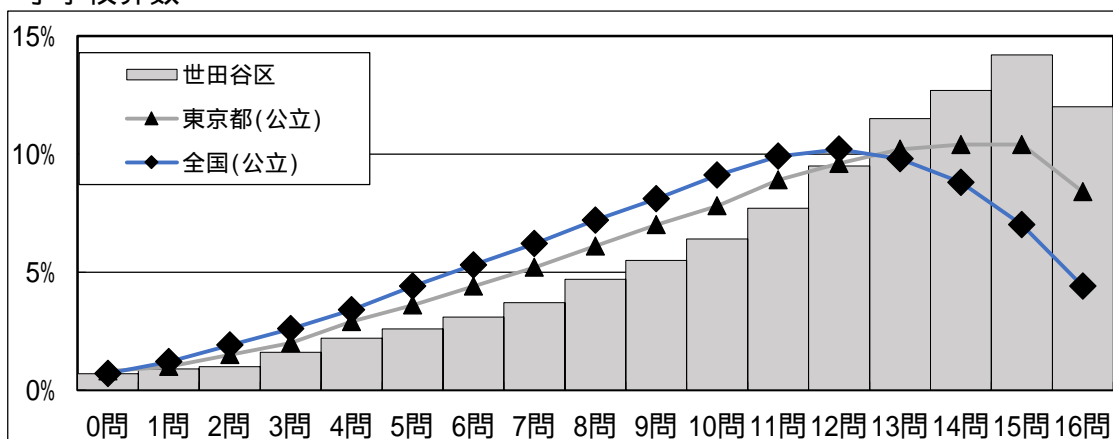
児童の割合が最も高くなっている正答数は、13問(全15問)である。

正答率の高い設問は「「落胆する」の意味として適切なものを選択する<2一>」である。(区93.1% 都92.5% 全国91.1%)

正答率の低い設問は、「現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く<4三>」である。(区55.8% 都54.1% 全国50.0%)
記述されている表現がどのような意味で使われているのかを考えることに課題がある。教科書に掲載されている現代語訳だけでなく、楽しめるような現代語訳などを取り上げ、文章の構成や展開、表現の効果などに着目して工夫されている学習活動を取り入れることが考えられる。

算数・数学

小学校算数



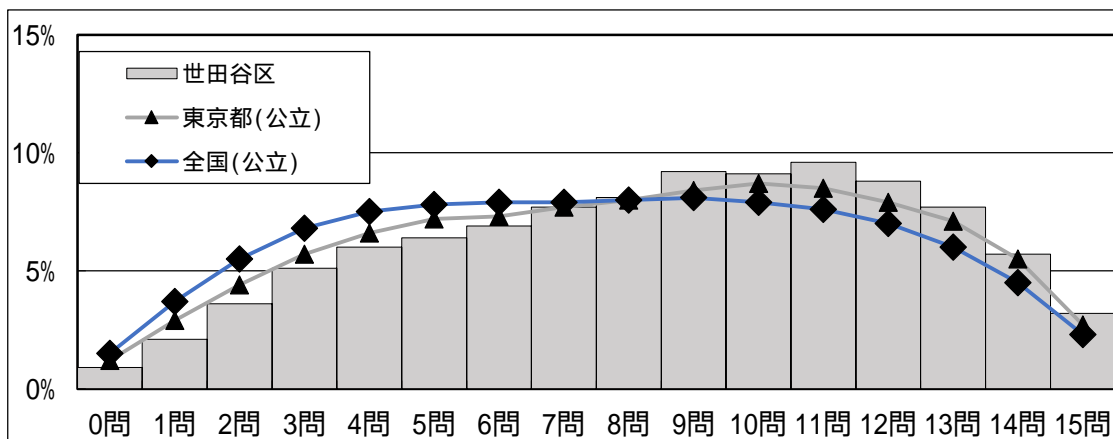
児童の割合が最も高くなっている正答数は、15問(全16問)である。

正答率の高い設問は「5脚の椅子を重ねたときの高さを求める<1(1)>」である。
(区95.0% 都94.3% 全国93.5%)

正答率の低い設問は「切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く<2(3)>」である。(区45.2% 都35.2% 全国24.9%)

「三角形の意味や性質」について、必要な情報を集めたり、理由を記述したりすることに課題があると考えられる。実際に正三角形や頂角の大きさを示した二等辺三角形をつくる活動を通して、角度を考えることができるように指導することが重要である。

中学校数学



児童の割合が最も高くなっている正答数は、11問(全15問)である。

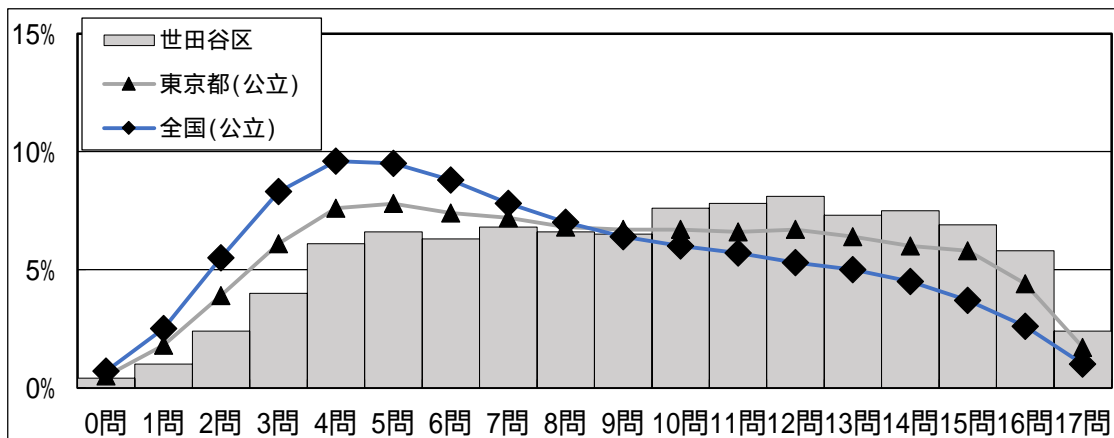
正答率の高い設問は「はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める」である。(区90.7% 都89.9% 全国88.9%)

正答率の低い設問は「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、()箱ひげ図の箱に着目して説明する」である。(区34.0% 都36.5% 全国33.6%)

複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。日常生活や社会の事象を題材とした問題などを取り上げ、統計的に問題解決することができるように指導することが重要である。

箱ひげ図とは、データのばらつきをわかりやすく表現するための統計図のこと。

中学校英語



児童の割合が最も高くなっている正答数は、12問(全17問)である。

正答率の高い設問は「ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する<1(1)>」である。(区86.9% 都83.1% 全国79.9%)

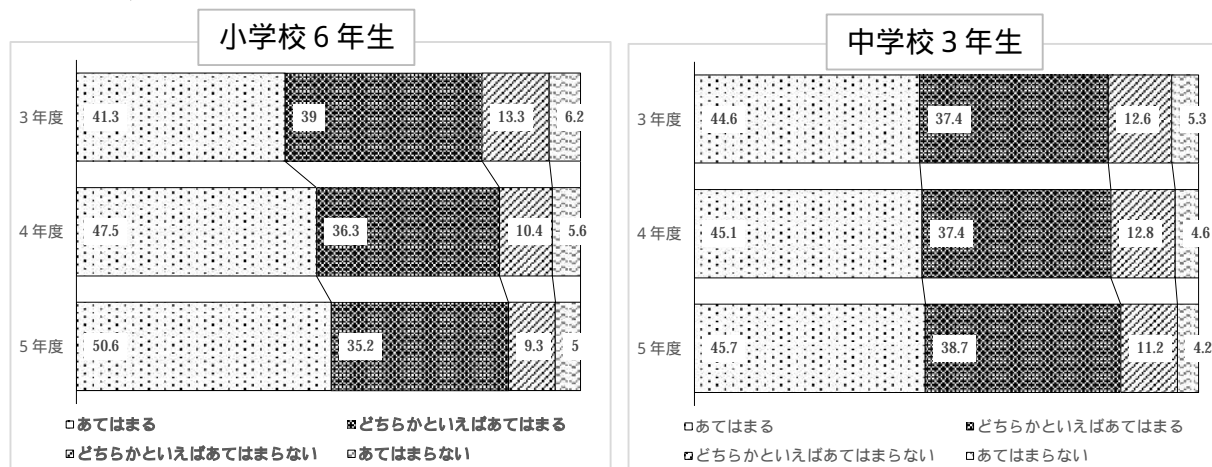
正答率の低い設問は「学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く<10>」である。(区13.4% 都10.1% 全国7.4%)

日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことに課題がある。テーマについて事実や考えを整理し、どのように書けばよりよく読み手に伝わるのかを考えながら書くことが重要である。

3 質問紙調査結果概要

3 - 1 キャリア教育に関する視点から

自分には、よいところがあると思いますか



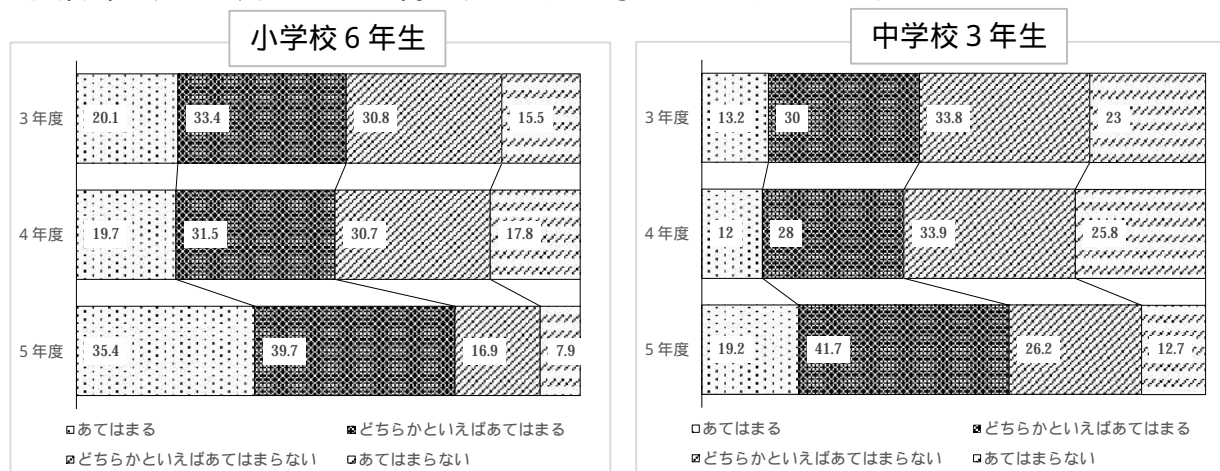
肯定的回答の割合

	小学校	中学校
世田谷区	85.8%	84.4%

	小学校	中学校
全国	83.5%	80.0%

「自分には、よいところがあると思いますか」との質問に肯定的に回答した児童・生徒の割合は、小学校 85.8%、中学校 84.4%で高い傾向がみられ、3年間の肯定的な回答の状況は、小学校、中学校ともに上昇傾向である。キャリア教育の取組みが児童・生徒の自己肯定感の向上として表れたてきた結果と考えている。

地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか



肯定的回答の割合

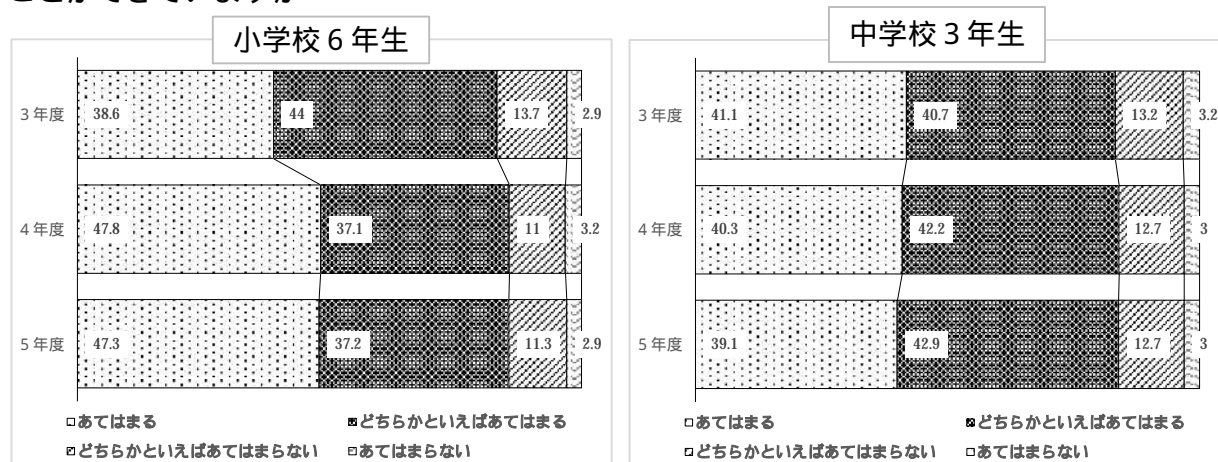
	小学校	中学校
世田谷区	75.1%	60.9%

	小学校	中学校
全国	76.8%	63.9%

「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」との質問に肯定的に回答した児童・生徒の割合は、小学校75.1%、中学校 60.9%であり、全国と比べて低い結果となるが、世田谷区内で見ると3年間の肯定的な回答の状況は、小学校と中学校ともに大きく増加した。大学や企業と連携した取組みやハローキャリアワークなど、学校だけでなく地域や企業等と連携したキャリア教育の取組みの成果と考えている。引き続き取組みを推進していく。

3 - 2 せたがや探究的な学びに関する視点から

学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



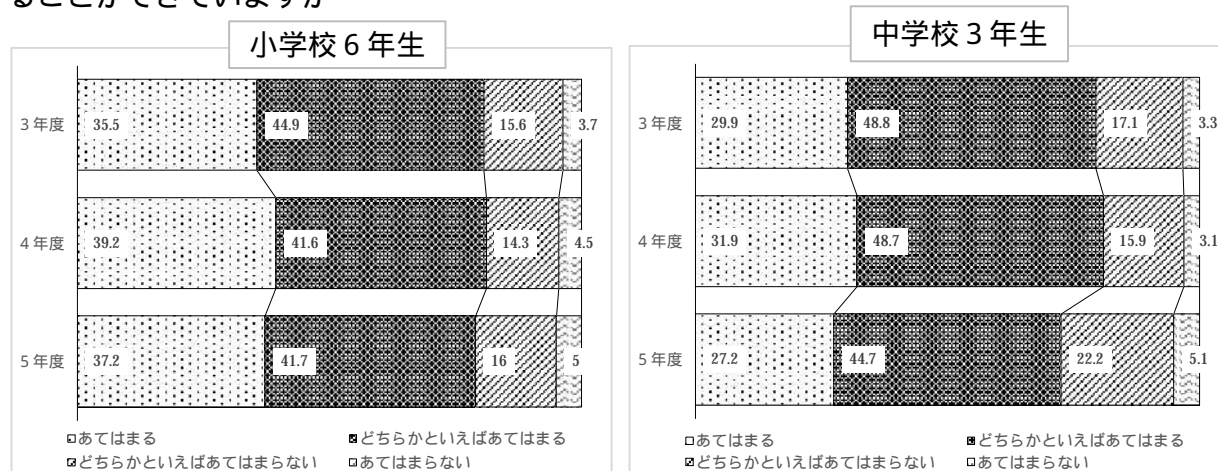
肯定的回答の割合

	小学校	中学校
世田谷区	84.5%	82.0%

	小学校	中学校
全国	81.8%	79.7%

「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」との質問に、肯定的に回答した児童・生徒の割合は、小学校 84.5%、中学校82.0%で高い傾向が見られる。3年間の肯定的な回答の状況は、小学校、中学校ともにほぼ横ばいである。協働や対話を重視している「せたがや探究的な学び」を推進してきた成果と考える。

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



肯定的回答の割合

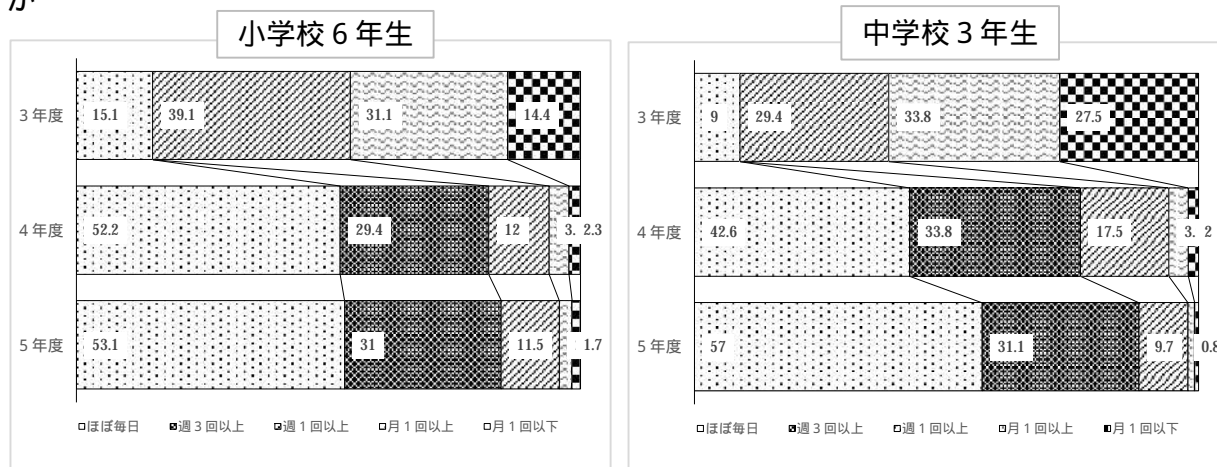
	小学校	中学校
世田谷区	78.9%	71.9%

	小学校	中学校
全国	77.4%	69.2%

「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」との質問に、肯定的に回答した児童・生徒の割合は、小学校78.9%、中学校71.9%で、3年間の肯定的な回答状況は、小学校ではほぼ横ばい、中学校では令和4年度と比較して減少した。これは、学習内容を振り返り次の学習に生かしていくことに課題があると考えられる。

3 - 3 ICTを活用した学習の視点から

前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



「ほぼ毎日」の割合

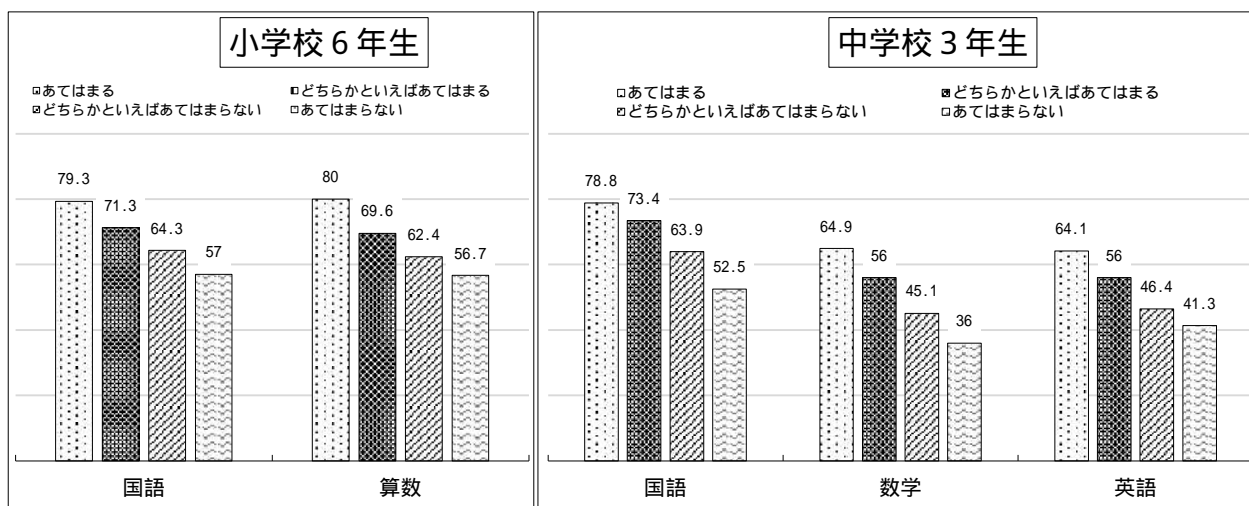
	小学校	中学校
世田谷区	53.1%	57.0%

	小学校	中学校
全国	28.2%	28.1%

前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」との質問に、「ほぼ毎日」と回答した児童・生徒の割合は小学校53.1%、中学校57.0%ともに全国に比べ、非常に高い傾向がみられる。令和3年度のGIGAスクール構想でタブレット端末配布開始の頃と比べて、「ほぼ毎日」という回答が大きく増加した。

4 クロス集計結果より（主体的な学習習慣 × 各教科の平均正答率）

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童・生徒は、「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童・生徒と比べて各教科の平均正答率が高い傾向にある。自ら振り返り、次の学習に生かしている子どもは正答率が高い。自ら課題をもち、解決に取り組んでいく学習を継続して取り組んでいくことが重要である。

令和5年度
全国学力・学習状況調査の結果
及び 調査結果の活用について

令和5年12月
世田谷区教育委員会

－ 目 次 －

1	調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	－ 3 －
2	教科に関する調査結果概要・・・・・・・・・・・・・・・・	－ 4 －
	- 1 教科に関する調査結果	
	小学校 国語・・・・・・・・・・・・・・・・	－ 5 －
	小学校 算数・・・・・・・・・・・・・・・・	－ 7 －
	中学校 国語・・・・・・・・・・・・・・・・	－ 9 －
	中学校 数学・・・・・・・・・・・・・・・・	－11－
	中学校 英語・・・・・・・・・・・・・・・・	－13－
	- 2 無回答10%以上の問題について・・・・・・・・	－15－
3	質問紙調査結果（児童・生徒、学校）	
	- 1 キャリア教育に関する視点から・・・・・・・・	－16－
	- 2 「せたがや探究的な学び」に関する視点から・・・・・	－20－
	- 3 ICTを活用した学習の視点から・・・・・・・・	－23－
	- 4 その他・・・・・・・・・・・・・・・・	－24－
	- 5 「児童・生徒質問紙調査一覧」・・・・・・・・	－25－
4	クロス集計結果より・・・・・・・・・・・・・・・・	－32－
5	参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・	－35－

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

世田谷区教育委員会

1 調査概要

調査日時： 令和5年4月18日(火)

調査事項： 児童：教科調査[国語、算数]、質問紙調査
 生徒：教科調査[国語、数学、英語]、質問紙調査
 学校：質問紙調査

調査対象及び集計対象 児童・生徒数・学校数：

小学校調査

	調査対象 児童数	集計対象 児童数 ¹	調査対象 学校数	集計対象 学校数
世田谷区立小学校	6,302人	6,007人	61校	61校
公立学校	1,019,859人	964,350人	18,672校	18,619校
国立学校	6,396人	6,191人	75校	75校
私立学校	13,190人	6,804人	244校	127校
合計	1,045,747人	983,352人	19,052校	18,882校

中学校調査

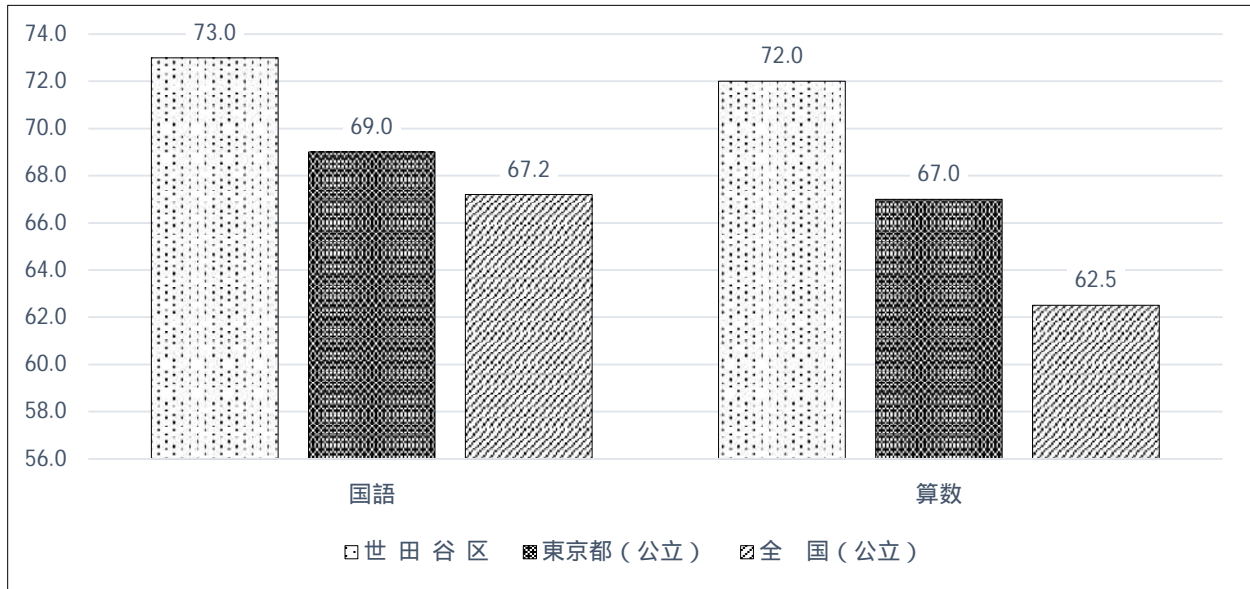
	調査対象 生徒数	集計対象 生徒数 ¹	調査対象 学校数	集計対象 学校数
世田谷区立中学校	3,952人	3,588人	29校	29校
公立学校	983,778人	893,528人	9,408校	9,339校
国立学校	9,968人	9,262人	80校	78校
私立学校	81,836人	21,191人	799校	285校
合計	1,079,534人	927,569人	10,316校	9,731校

1 集計対象児童・生徒数は、令和5年4月18日(火)に調査を実施した数。集計対象児童・生徒数は、回収した解答用紙の最も多かった脅威かの解答用紙の枚数で算出。

2 教科に関する調査結果概要

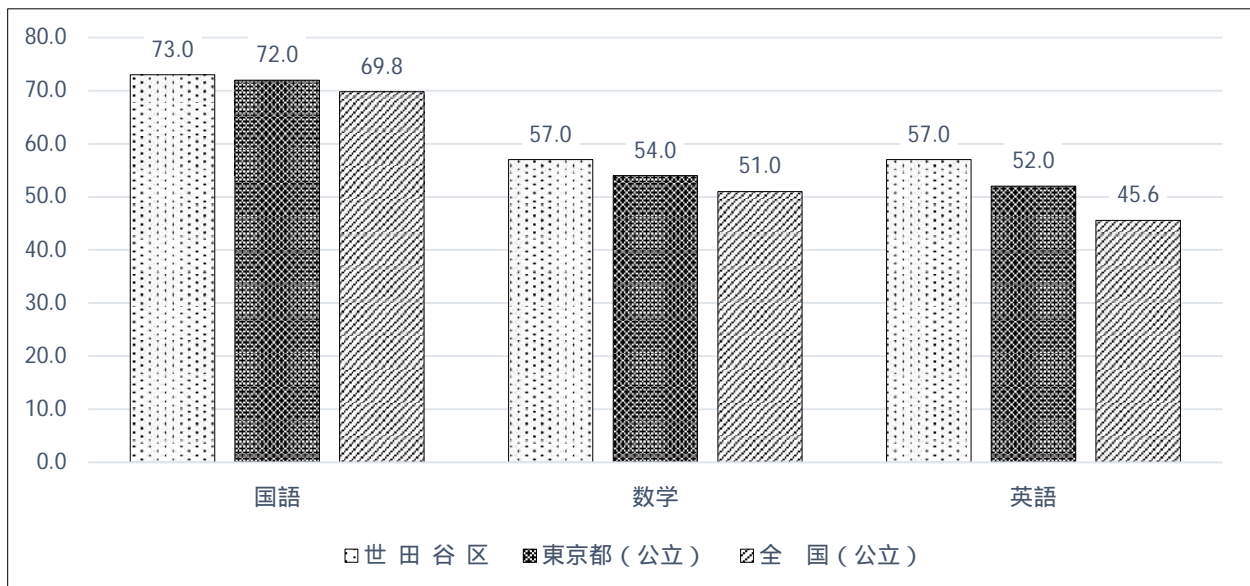
(1) 小学校6年生 平均正答率

	平均正答率(%)	
	国語	算数
世田谷区	73.0	72.0
東京都(公立)	69.0	67.0
全国(公立)	67.2	62.5



(2) 中学校3年生 平均正答率

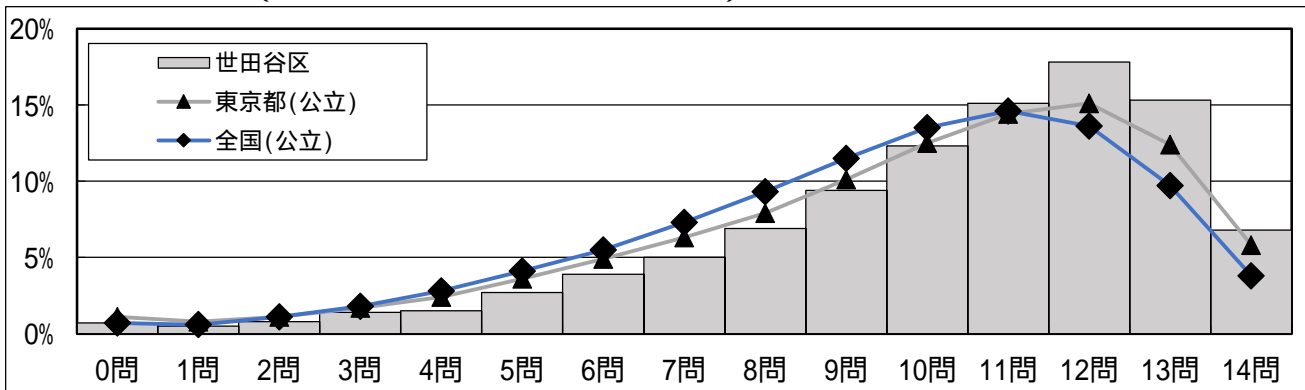
	平均正答率(%)		
	国語	数学	英語
世田谷区	73.0	57.0	57.0
東京都(公立)	72.0	54.0	52.0
全国(公立)	69.8	51.0	45.6



- 1 教科に関する調査結果

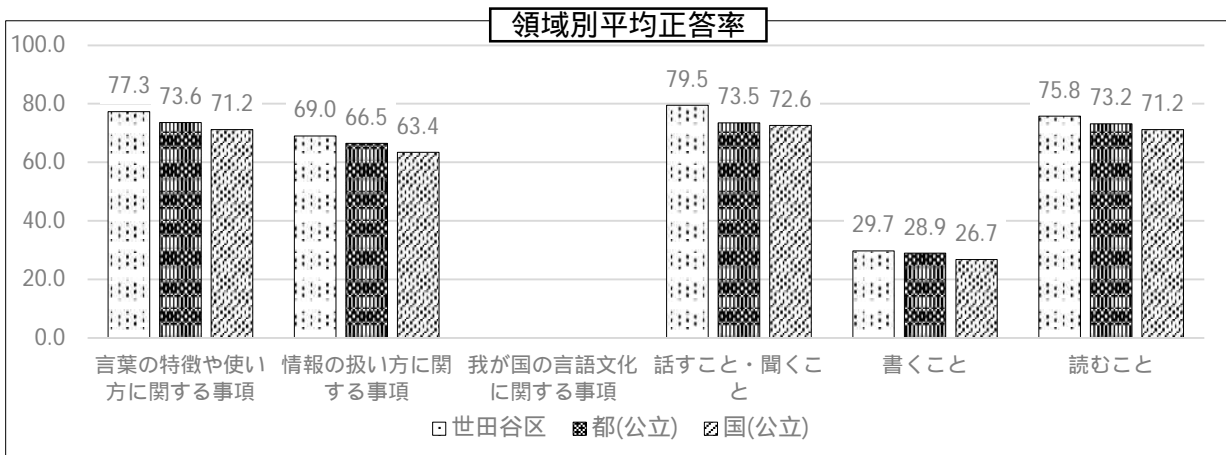
小学校 国語

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：児童の割合）



問題別正答率及び無回答率

問題番号	問題の概要	正答率 (%)			無解答率 (%)		
		世田谷区	東京都(公立)	全国(公立)	世田谷区	東京都(公立)	全国(公立)
1一	米作りのときに記録していた【カード】と【カード】の下線部の関係として適切なものを選択する	71.6	68.2	64.7	2.0	2.8	1.8
1二	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	29.7	28.9	26.7	9.2	8.2	7.1
1三 (1) ア	【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(いがい)	61.1	56.7	52.8	4.9	5.2	4.8
1三 (1) ウ	【川村さんの文章】の下線部ウを、漢字を使って書き直す(きかふ)	80.9	76.2	72.6	6.9	7.3	6.7
1三 (2) イ	【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したのとして適切なものを選択する(くらべて)	94.6	93.0	93.1	1.1	1.6	1.0
1四	【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する	83.3	82.0	79.8	1.9	2.8	2.0
2一	【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する	91.9	90.9	90.0	1.3	2.0	1.2
2二	【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する	76.2	72.0	67.4	1.5	2.3	1.4
2三	相田さんが【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したのとして適切なものを選択する	66.5	64.8	62.0	1.6	2.5	1.6
2四	資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く	59.1	56.8	56.2	10.4	10.8	8.5
3一 (1)	【インタビューの様子】の傍線部ア(～ということだと思いますが、合っていますか。)のように質問をした理由として適切なものを選択する	80.5	75.4	73.6	2.8	5.7	3.7
3一 (2)	【インタビューの様子】の傍線部イ(～というのは、どのような姿ですか。)のように質問をした理由として適切なものを選択する	82.0	76.4	74.0	3.0	6.2	4.1
3二	寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く	75.9	68.6	70.2	13.0	18.0	14.3
3三	敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	66.7	60.2	57.6	5.9	12.4	9.5



本年度は「我が国の言語文化に関する事項」の出題はありませんでした。

正答率の高かった設問

【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したものと適切なものを選択する
(くらべて) <1三(2)イ>

94.6% 全国：93.1%

【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する<2一>

91.9% 全国：90%

正答率の低かった設問

【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く<1二>

29.7% 全国：26.7%

<調査結果のポイント>

区の平均正答率は72%で、すべての内容において全国・東京都を上回る。

<正答率下位の設問>

問題文は、36～38ページ参照

出題の趣旨

【問題番号1二】図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

学習指導要領に示されている言語活動の例との関連

〔第5学年及び第6学年〕思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

<指導改善のポイント>

自分の考えを分かりやすく伝えるためには、図表やグラフなどを用いて、書き表し方を工夫することが必要である。必要に応じて、教師が、図表やグラフなどを用いたモデルとなる文章を提示することで、図表やグラフなどを用いると自分にとっても考えを深めやすく、相手にとってもよく理解できるものになることを実感できるように指導すると効果的である。

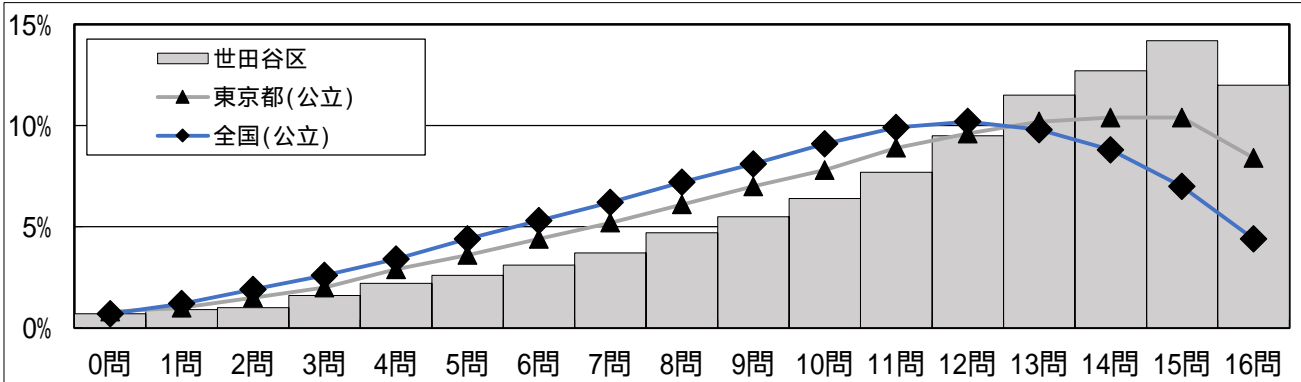
(令和5年度全国学力・学習状況調査報告書 小学校国語 P.21)

無回答率の高かった設問では、目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題があると考えられる。話を聞いて自分の考えをまとめる際には、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることが重要である。

- 1 教科に関する調査結果

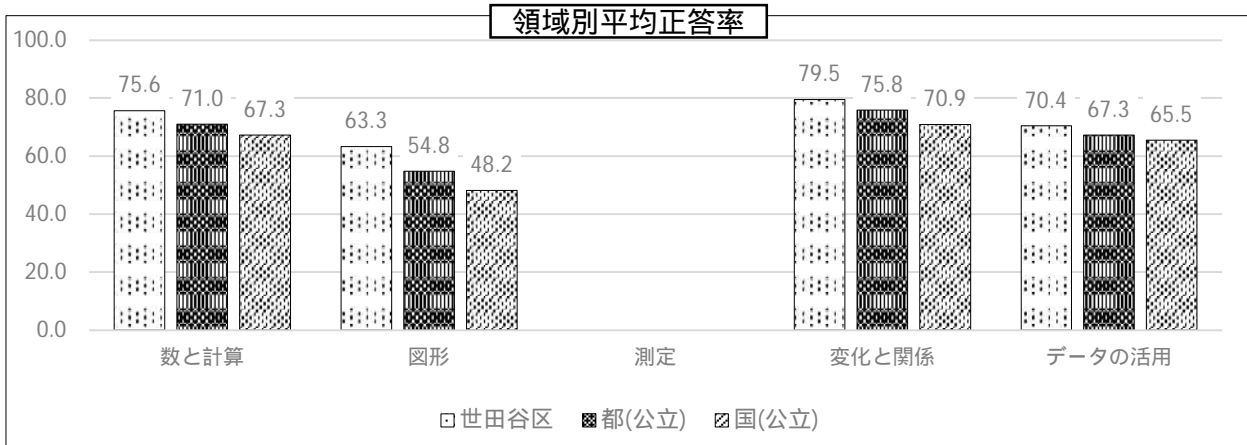
小学校 算数

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：児童の割合）



問題別正答率及び無回答率

問題番号	問題の概要	正答率 (%)			無解答率 (%)		
		世田谷区	東京都(公立)	全国(公立)	世田谷区	東京都(公立)	全国(公立)
1(1)	5脚の椅子を重ねたときの高さを求める	95.0	94.3	93.5	0.8	0.9	0.8
1(2)	椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く	92.3	90.9	88.5	1.6	1.2	1.0
1(3)	椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの求め方と答えを書く	67.7	61.7	55.5	3.6	3.5	3.4
1(4)	全部の椅子の数を求めるために、 50×40 を計算する	85.1	82.5	80.8	1.3	1.3	1.2
2(1)	テープを2本の直線で切ってきた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ	71.9	65.0	59.8	1.1	0.9	0.7
2(2)	テープを折ったり切ったりしてできた四角形の名前を書く	90.1	89.6	87.2	3.5	3.3	2.9
2(3)	切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く	45.2	35.2	24.9	5.2	4.2	3.7
2(4)	テープを直線で切ってきた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く	46.0	29.5	20.8	4.2	4.6	4.0
3(1)	2種類の辞典を全部並べた長さを求める二つの式について、それぞれどのようなことを表しているのかを選ぶ	77.3	73.4	70.3	2.2	1.9	1.4
3(2)	3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する	69.4	62.4	56.7	4.3	4.4	4.0
3(3)	$(151 + 49) \times 3$ と $151 \times 3 + 49 \times 3$ を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める	81.4	75.0	72.4	2.9	3.0	2.5
3(4)	$66 \div 3$ の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ	58.7	54.2	47.6	4.7	4.8	3.9
4(1)	示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ	63.1	56.2	46.0	2.7	3.0	2.4
4(2)	運動カードから、運動した時間の合計が30分以上である日数を求める	81.5	78.6	75.7	5.2	5.0	4.3
4(3)	二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く	58.2	56.0	56.2	16.0	15.9	13.8
4(4)	二次元の表から、読み取ったことの根拠となる数の組み合わせを選ぶ	71.7	67.2	64.6	4.6	5.6	4.9



本年度は「測定」の出題はありませんでした。

正答率上位2問

5脚の椅子を重ねたときの高さを求める<1(1)>

95% 全国：93.5%

椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く<1(2)>

92.3% 全国：88.5%

正答率下位2問

切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときAの角の大きさを書く<2(3)>

45.2% 全国：24.9%

<調査結果のポイント>

区の平均正答率は72%で、すべての内容において全国・東京都を上回る。

<正答率下位の設問>

問題文は、39～41ページ参照

出題の趣旨

【問題文2(3)】正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる。

学習指導要領における領域・内容

〔第3学年〕B 図形

(1) 図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 二等辺三角形、正三角形などについて知り、作図などを通してそれらの関係に次第に着目すること。

〔第5学年〕B 図形

(1) 平面図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(イ) 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解すること。

<指導改善のポイント>

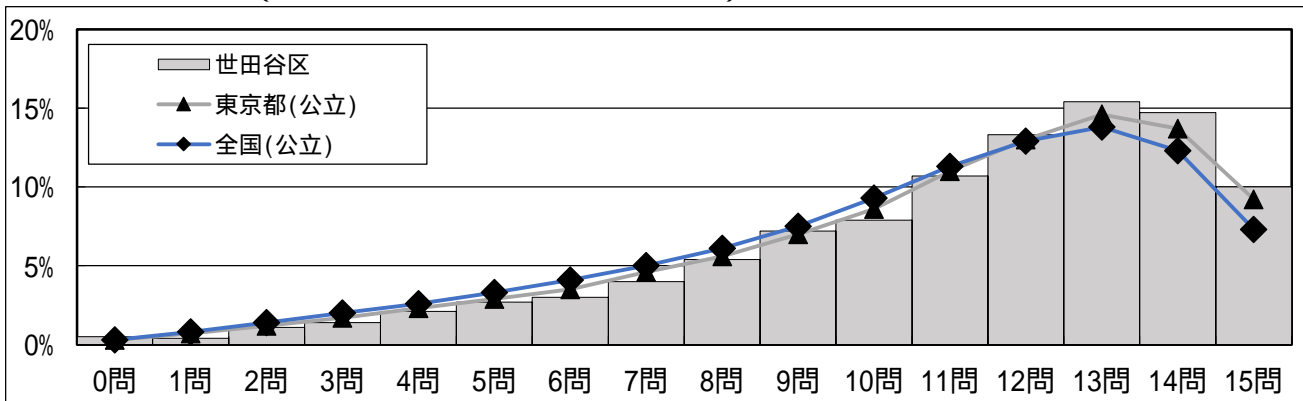
目的の図形をつくるために、どのような操作をすればよいか、図形の意味や性質を基に、見通しを立てることができるようにすることが重要である。指導に当たっては、実際に正三角形や頂角の大きさが 120° の二等辺三角形をつくる活動が考えられる。その際、次のページの図のように、テープを折ってAの角の大きさを 20° などにして切ってできた直角三角形を切り開くと、頂角の大きさがそれぞれ何度になるのかを考えることができるようにすることが重要である。その上で、テープを切って開いてできた二等辺三角形の頂角の大きさはAの角の大きさの2倍になるのではないかと気が付き、正三角形をつくるためには、頂角の大きさを 60° の半分 30° にすればよいという見通しを立てることができるようにすることが重要である。(令和5年度全国学力・学習状況調査報告書 小学校算数 P.45)

無回答率の高い設問については、示された場面の状況の変化に応じて、数学的に表現・処理し、得られた結果から条件に当てはまるかどうかを判断することに課題が見られた。そのため、問題を自ら発見し解決するために、事象を数理的に捉え、数学的に表現・処理し、解決過程や結果を振り返り、意味付けたり、活用したりすることができるように指導する必要がある。

- 1 教科に関する調査結果

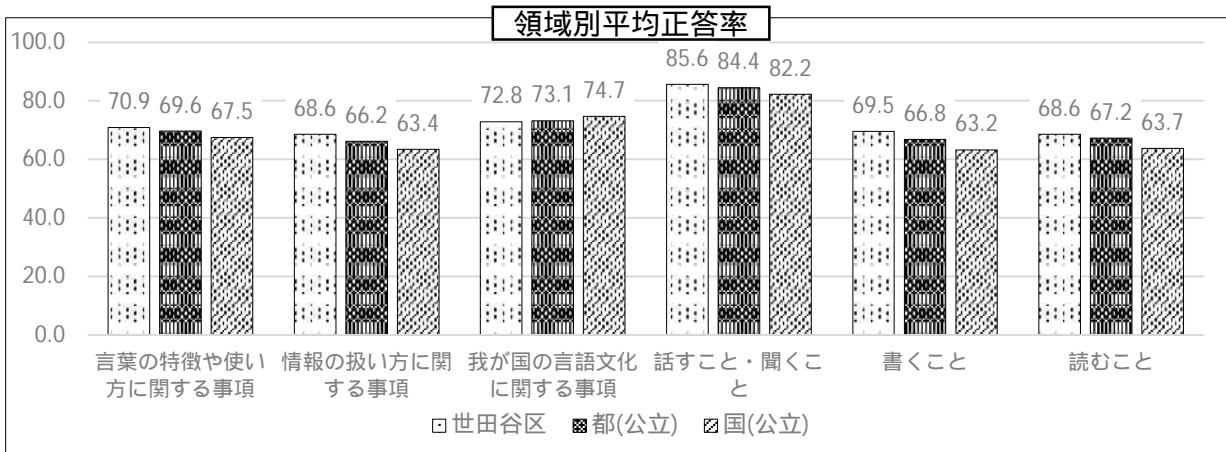
中学校 国語

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：生徒の割合）



問題別正答率及び無回答率

問題番号	問題の概要	正答率 (%)			無回答率 (%)		
		世田谷区	東京都(公立)	全国(公立)	世田谷区	東京都(公立)	全国(公立)
1一	インタビューの前に準備したメモについて説明したものと適切なものを選択する	89.5	89.2	87.5	0.3	0.1	0.1
1二	インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する	66.9	66.0	65.1	0.3	0.2	0.2
1三	相手の話を受けて発した質問について、述べ方の工夫とその意図を説明したものと適切なものを選択する	81.2	79.2	76.6	0.3	0.3	0.2
1四	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く	86.1	84.7	82.5	7.9	8.7	10.8
2一	「落胆する」の意味として適切なものを選択する	93.1	92.5	91.1	0.4	0.2	0.2
2二	二つの文章に共通する表現の効果を説明したものと適切なものを選択する	69.2	67.4	63.0	0.6	0.5	0.4
2三	それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する	78.0	77.8	74.2	0.6	0.4	0.3
2四	自分がこれからどのように本を読んでいきたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く	71.3	69.7	67.5	3.7	3.5	3.9
3一	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する	63.0	58.8	54.3	1.1	0.7	0.6
3二	漢字を書く（おし量って）	48.6	46.6	43.9	8.7	10.0	10.7
3三	「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く	70.2	66.3	61.8	1.9	2.1	2.1
3四	「『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く	76.1	74.7	72.1	9.0	9.5	10.2
4一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（いひける）	71.5	74.4	82.5	4.0	4.1	3.6
4二	原文の中の語句に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す（いと）	75.4	75.1	74.1	4.8	4.9	4.8
4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	55.8	54.1	50.0	16.0	18.1	20.7



正答率の高かった設問

「落胆する」の意味として適切なものを選択する<2>

93.1% 全国：91.1%

インタビューの前に準備したメモについて説明した
ものとして適切なものを選択する<1>

89.5% 全国：87.5%

正答率低かった設問

現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように
工夫されているかについて、古典と比較して書く<4
3>

55.8% 全国：50%

<調査結果のポイント>

区の平均正答率は73%で、すべての内容において全国・東京都を上回る。

<正答率下位の設問>

問題文は、42・43ページ参照

出題の趣旨

【問題番号4三】文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。

学習指導要領に示されている言語活動の例との関連

〔〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。

<指導改善のポイント>

教科書に掲載されている現代語訳だけでなく、中学生などが楽しめるような現代語訳などを取り上げ、文章の構成や展開、表現の効果などに着目して工夫されているところを考える学習活動などが考えられる。その際、古典の原文と比較したり関係付けたりすることで、古典の原文やその作品の世界に生徒の興味・関心が向かうよう指導することが重要である。

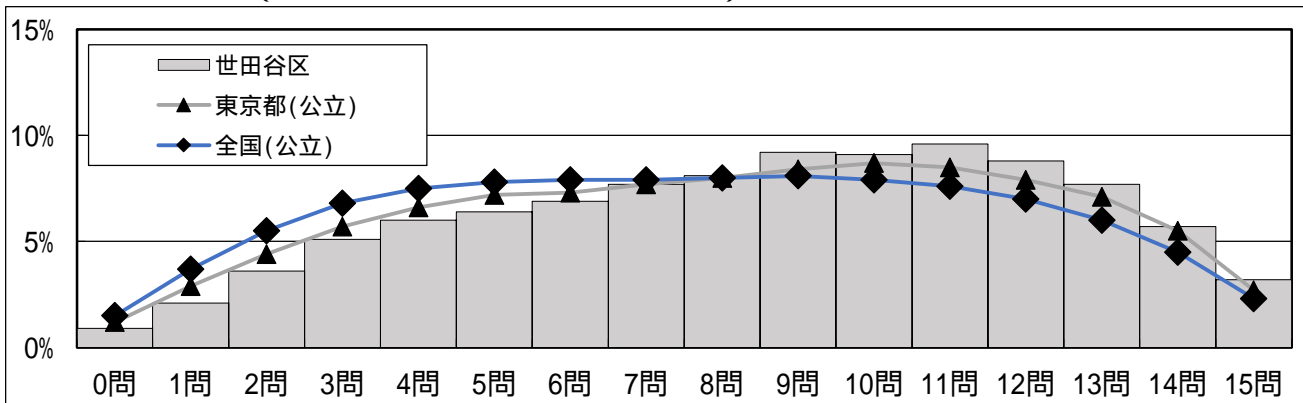
(令和5年度全国学力・学習状況調査報告書 中学校国語 P.61)

無回答率も同様の設問である。記述されている表現が文章の内容を伝えたり印象付けたりする上でどのように働いているかを考えることに課題があると考えられる。生徒が古典との距離を縮め、古典の世界に親しむためには、古典の現代語訳や古典について解説した文章などを教材として適切に取り上げ、生徒自身が古典の楽しみ方を見いだすことができるよう指導することが重要である。

- 1 教科に関する調査結果

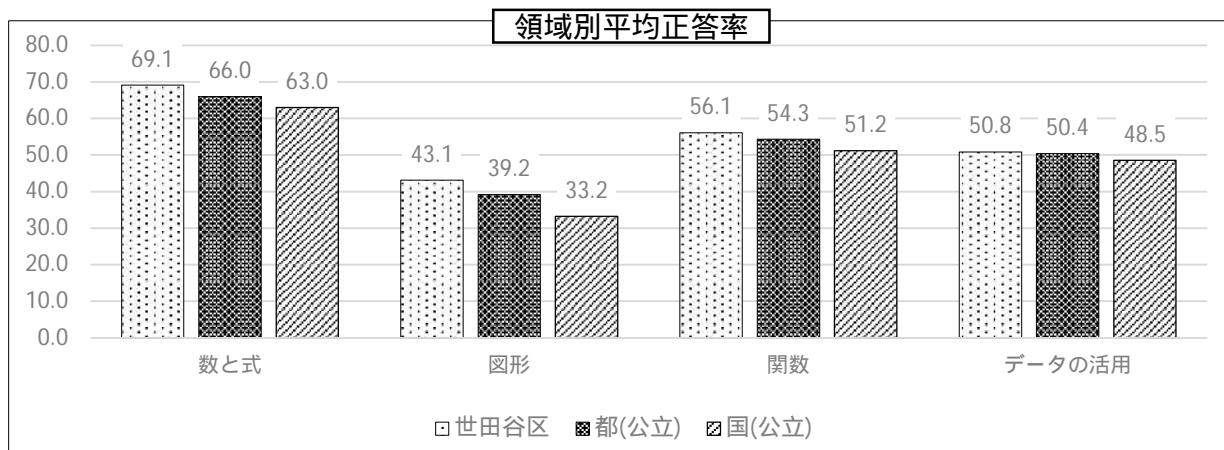
中学校 数学

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：生徒の割合）



問題別正答率及び無回答率

問題番号	問題の概要	正答率 (%)			無解答率 (%)		
		世田谷区	東京都(公立)	全国(公立)	世田谷区	東京都(公立)	全国(公立)
1	-5、0、3、4、7、9の中から自然数を全て選ぶ	50.9	46.9	46.1	0.2	0.1	0.1
2	$12(x/4+y/6)$ を計算する	89.1	85.3	80.5	2.3	2.9	4.0
3	空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ	40.5	37.1	30.4	0.8	0.9	0.8
4	yがxに反比例し、比例定数が3のとき、xの値とそれに対応するyの値について、正しい記述を選ぶ	45.4	44.2	42.8	0.5	0.7	0.5
5	女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める	45.7	46.5	46.1	10.3	10.5	11
6(1)	はじめの数が11のとき、はじめの数に掛ける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める	90.7	89.9	88.9	1.8	2.0	2.4
6(2)	はじめの数に掛ける数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成する	67.4	63.2	58.8	8.3	8.7	10.6
6(3)	はじめの数に掛ける数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する	47.7	44.7	40.9	18.6	21.9	24.7
7(1)	1961年～1975年の四分位範囲を求める	72.7	68.2	65.7	4.7	5.1	5.6
7(2)	「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する	34.0	36.5	33.6	18.4	19.9	22.8
8(1)	晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差について、グラフのどの2点のx座標の差として表れるかを書く	63.5	62.3	57.5	7.8	8.2	8.6
8(2)	二人の選手のグラフが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ	69.2	65.8	61.7	1.5	1.3	1.1
8(3)	グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mの地点になるかを求める方法を説明する	46.4	44.9	42.8	11.8	12.7	13.2
9(1)	2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する	44.3	39.9	32.1	17.3	20.0	24.7
9(2)	二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く	44.4	40.5	37.0	10.9	13.7	14.2



正答率上位 2 問

はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める<6 (1)>

90.7% 全国：88.9%

12(x/4+y/6)を計算する<2>

89.1% 全国：80.5%

正答率下位 2 問

「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する<7 (2)>

34% 全国：33.6%

<調査結果のポイント>

区の平均正答率は56%で、すべての内容において全国・東京都を上回る。

<正答率下位の設問>

問題文は、44～46ページ参照

出題の趣旨

【問題番号7(2)】複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。

学習指導要領に示されている言語活動の例との関連

【第2学年】D データの活用

(1) データの分布について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。(ア)四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断すること。

<指導改善のポイント>

日常生活や社会の事象を題材とした問題などを取り上げ、統計的に問題解決することができるように指導することが重要である。その際、問題を解決するために計画を立て、必要なデータを収集して分析し、データの分布の傾向を捉え、その結果を基に批判的に考察し判断するという一連の活動を充実させることが重要である。

例えば、自分たちが住む地域の黄葉日の傾向を調べるため、過去60年分の記録をまとめたデータをインターネットなどを利用して収集し、分析する場面を設定することが考えられる。具体的には、黄葉日が以前と比べてどのような傾向にあるのかを調べるために折れ線グラフに表したり、15年ごとの四つのまとまりに分けて箱ひげ図に表したりする場面を設定することが考えられる。

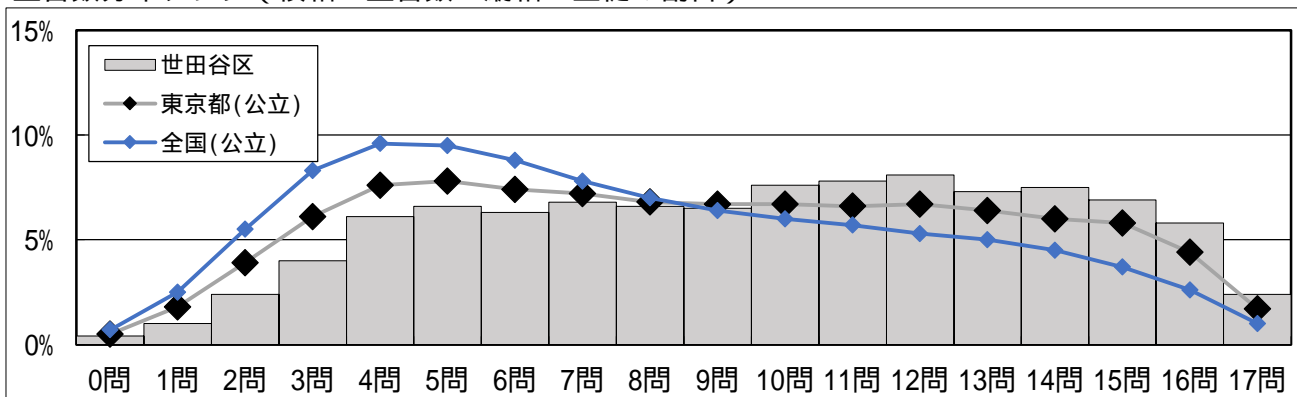
(令和5年度全国学力・学習状況調査報告書 中学校算数 P.50)

無回答率の高い設問については、結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って捉え、見いだした事柄を数学的に表現できるようにすることが重要である。

- 1 教科に関する調査結果

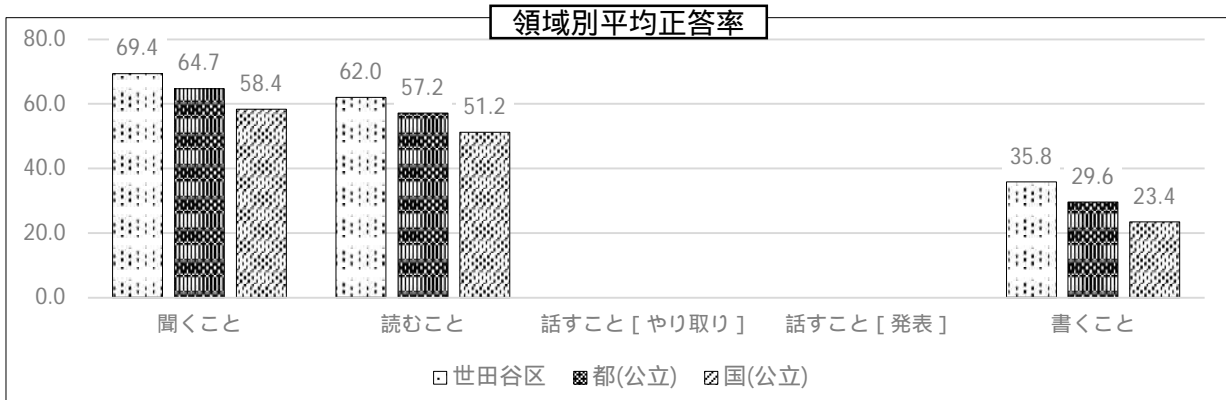
中学校 英語

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：生徒の割合）



問題別正答率及び無回答率

問題番号	問題の概要	正答率 (%)			無解答率 (%)		
		世田谷区	東京都(公立)	全国(公立)	世田谷区	東京都(公立)	全国(公立)
1(1)	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	86.9	83.1	79	0.2	0.2	0.1
1(2)	道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	77.8	70.8	64.4	0.2	0.2	0.2
1(3)	買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	62.2	57.2	49.8	0.3	0.2	0.2
2	忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する	75.0	70.4	61.1	0.3	0.2	0.2
3	バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する	48.0	46.7	41.2	0.3	0.3	0.2
4	水問題についての話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する	66.6	59.9	54.8	0.4	0.5	0.4
5(1)	ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する	65.9	61.4	56	0.4	0.3	0.3
5(2)	事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する	75.7	70.2	64.5	0.3	0.3	0.3
6	友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する	49.2	44.1	35.9	0.4	0.3	0.3
7(1)	図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する	70.1	65.6	59.8	0.4	0.4	0.3
7(2)	図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する	42.0	40.0	34.7	0.9	0.8	0.7
8(1)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する	69.3	62.0	56.1	0.8	0.9	0.8
8(2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	28.2	25.2	19.5	19.8	24.4	29.3
9(1)	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	58.6	48.5	40.4	3.8	5.7	6.6
9(1)	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	34.4	27.4	20.9	6.3	9.3	10.9
9(2)	メールの英文を依頼する表現に書き換える	44.1	36.9	29	14.5	19.9	24.5
10	学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く	13.4	10.1	7.4	12.8	17.1	21.4



本年度は「話すこと[やり取り][発表]」の出題はありませんでした。

正答率の高かった設問

ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する<1(1)>

86.9% 全国：79%

道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する<1(2)>

77.8% 全国：64.4%

正答率の低かった設問

学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く<10>

13.4% 全国：7.4%

<調査結果のポイント>

区の平均正答率は56%で、すべての内容において全国・東京都を上回る。

<正答率下位の設問>

問題文は、47ページ参照

出題の趣旨

【問題番号10】日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる。

学習指導要領における領域・内容
書くこと

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。

<指導改善のポイント>

テーマについてまとまりのある文章を書くためには、テーマについて事実や考えを整理し、どのように書けばよりよく読み手に伝わるのかを考えながら書くことが重要である。その際、テーマについて書く内容を想起できるようにすることや、伝えたい内容を読み手に正しく伝えるために、語や文法事項等を理解して文章を書くことができるように指導することが必要である。さらに、説明文を書く際には、「主題とその具体例」、意見文を書く際には、「最も伝えたいこととその理由」など、目的に応じて文章構成を判断するように指導することも重要である。

指導に当たっては、以下のような言語活動に取り組むことが考えられる。

- ・ 学校生活や家庭生活における出来事について、電子メールや手紙、日記、レポート、スピーチ原稿などの形式により、事実を伝えたり、出来事を描写したりする文章を書く活動
- ・ 身近な話題や生徒の体験について、手紙や電子メール、新聞の投稿欄などの形式により、自分の考えや気持ちなどが伝わるように文章を書く活動

無回答率の高い設問については、社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことに課題がある。読んだことを基に自分の考えとその理由を書くことができるように指導することが重要である。

- 2 無回答率10%以上の問題について

<小学校>

教科	問題番号	問題の概要	無回答率(%)		
			世田谷区	東京都(公立)	全国(公立)
国語	2四	資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができるようなことをまとめて書く	10.4	10.8	8.5
算数	4 (3)	二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く	16.0	15.9	13.8

<中学校>

教科	問題番号	問題の概要	無回答率(%)		
			世田谷区	東京都(公立)	全国(公立)
国語	4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	16.0	18.1	20.7
数学	5	女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める	10.3	10.5	11
数学	6 (3)	はじめの数にける数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する	18.6	21.9	24.7
数学	7 (2)	「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する	18.4	19.9	22.8
数学	8 (3)	グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区のスタート地点からおおよそ何mの地点になるかを求める方法を説明する	11.8	12.7	13.2
数学	9 (1)	2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する	17.3	20.0	24.7
数学	9 (2)	二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く	10.9	13.7	14.2
英語	8 (2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	19.8	24.4	29.3
英語	9 (2)	メールの英文を依頼する表現に書き換える	14.5	19.9	24.5
英語	10	学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く	12.8	17.1	21.4

<指導改善のポイント>

無回答率の高かった問題について、小学校の国語「自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導」「考えを引き出したり思考を深めたりする指導」「適切にノートをとるなど、学習方法に関する指導をしている」等の指導上の取組は、我が国の児童生徒の課題とされている記述式問題の無回答率の減少に効果がある。

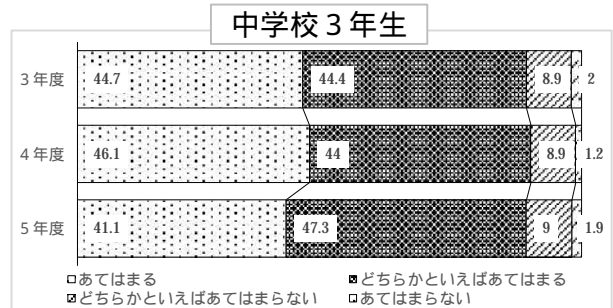
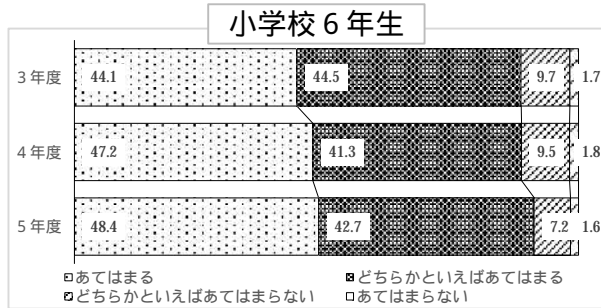
(文部科学省「全国的な学力調査の在り方等の検討に関する専門家会議(第1回)

配付資料・資料2-5 全国学力・学習状況調査によって明らかになった主な事項)より)

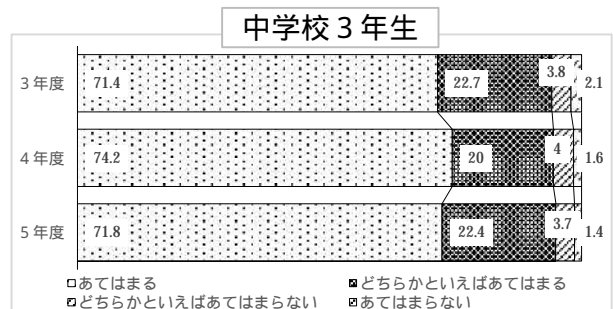
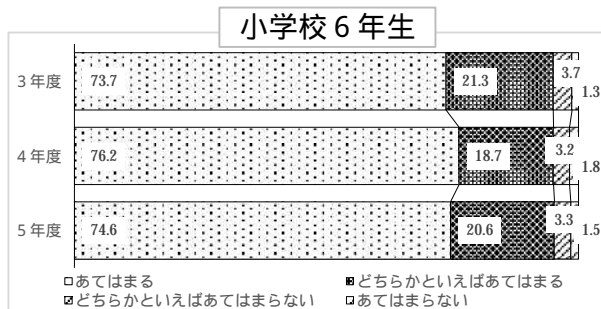
3 質問紙調査結果（児童・生徒、学校）

- 1 キャリア教育に関する視点から

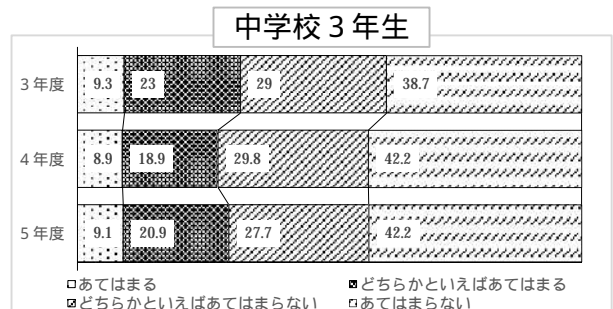
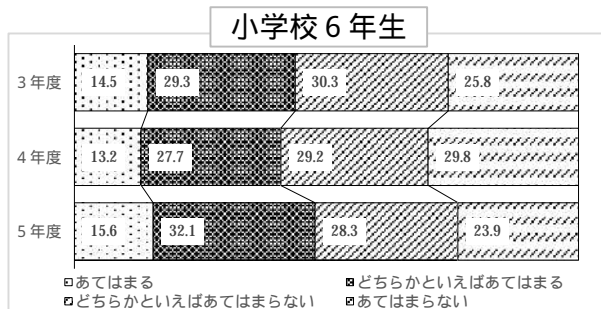
「人間関係形成能力・社会形成能力」に関わる項目（左図：小学6年生、右図：中学3年生）人が困っているときは、進んで助けていますか



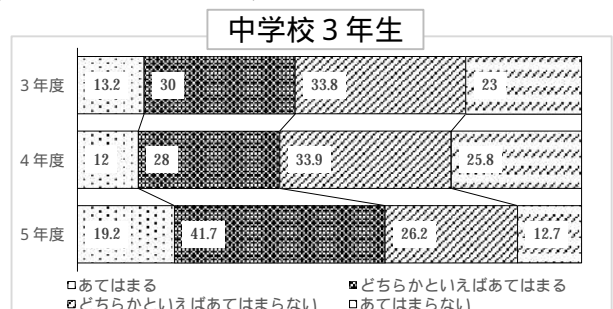
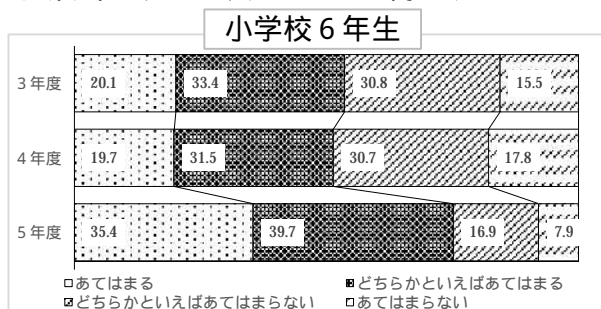
人の役に立つ人間になりたいと思いますか



今住んでいる地域の行事に参加していますか



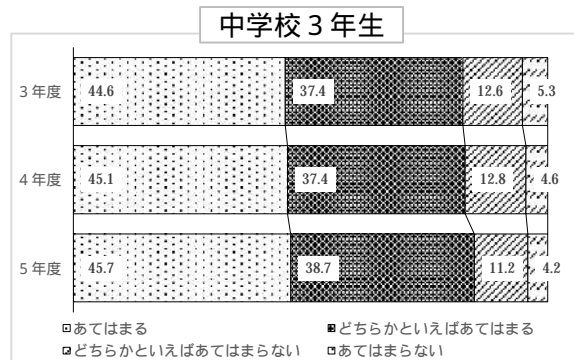
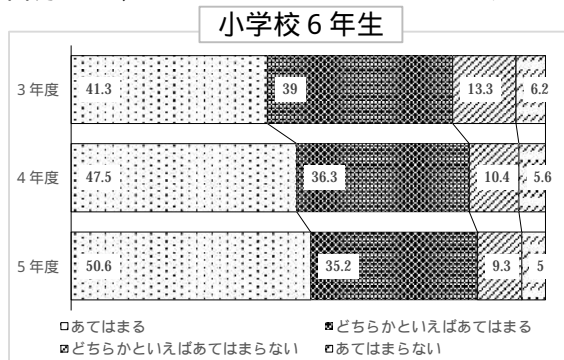
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか



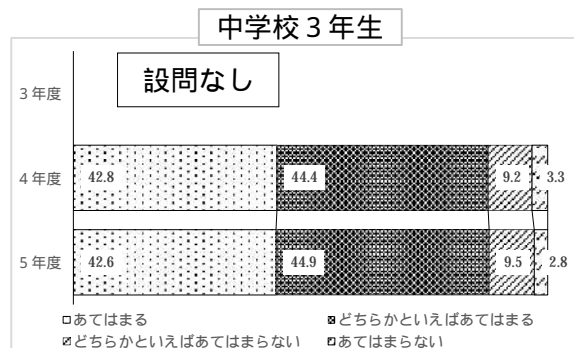
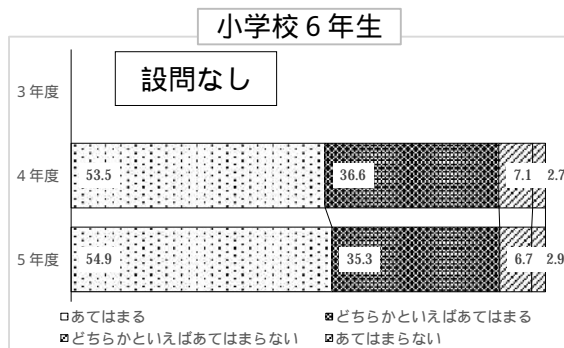
< 調査結果のポイント >

「人が困っているときは、進んで助けていますか」との質問に肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校は上昇傾向にあり、中学校は横ばいの傾向にある。
 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」との質問に肯定的に回答した児童生徒の割合は小学校・中学校とも非常に高い水準で横ばいの傾向にある。
 ○地域とのかかわりに関する「今住んでいる地域の行事に参加していますか」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」との質問に、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童生徒は小学校・中学校とも上昇している。特に「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」との質問については、大きく上昇している。

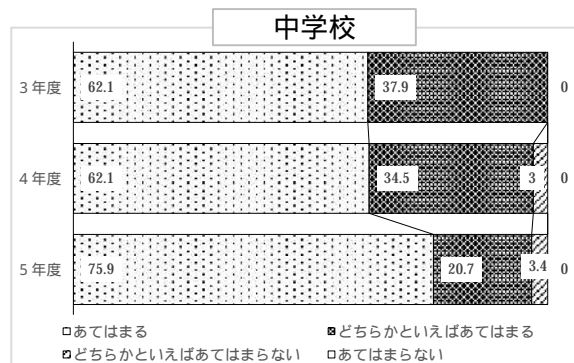
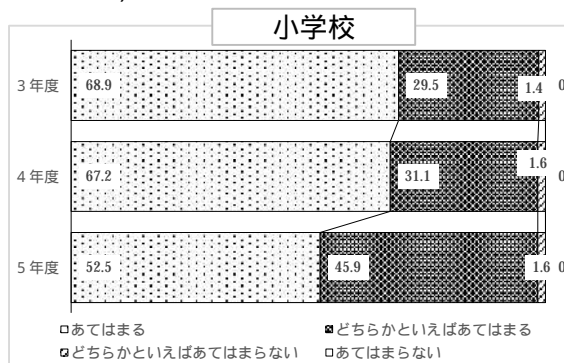
「自己理解・自己管理能力」に関わる項目
自分には、よいところがあると思いますか



先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



前年度までの学校生活の中で、児童・生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか <学校質問紙>

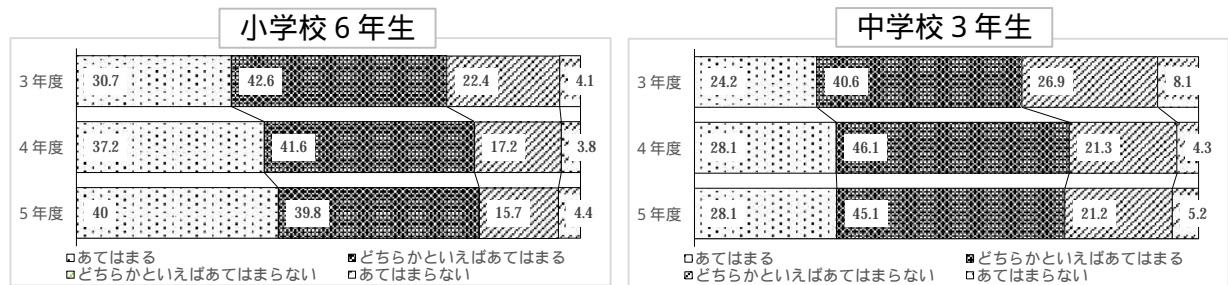


<調査結果のポイント>

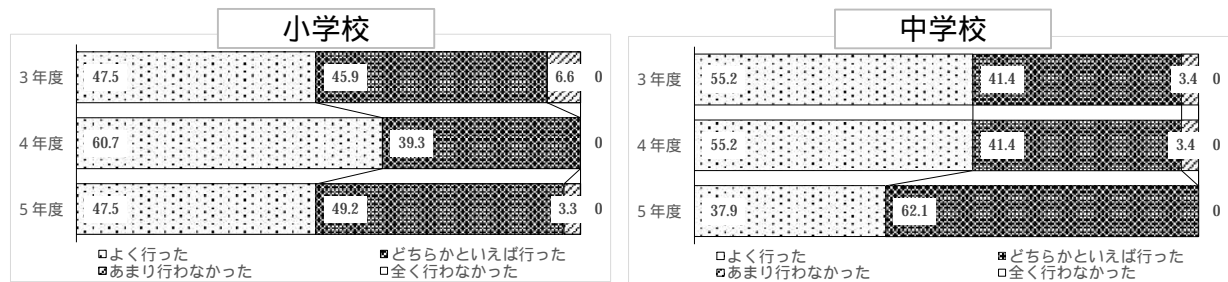
「自分には、よいところがあると思いますか」との質問に、肯定的に回答した児童生徒の割合は小学校・中学校とも上昇傾向にある。
 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」との質問に、肯定的に回答した児童生徒の割合は小学校・中学校とも上昇している。
 学校質問紙(学校回答)の「前年度までに、学校生活の中で、児童・生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか」との質問については、「あてはまる」と回答した学校の割合が、小学校・中学校とも非常に高い割合を保っている。

「課題対応能力」に関わる項目

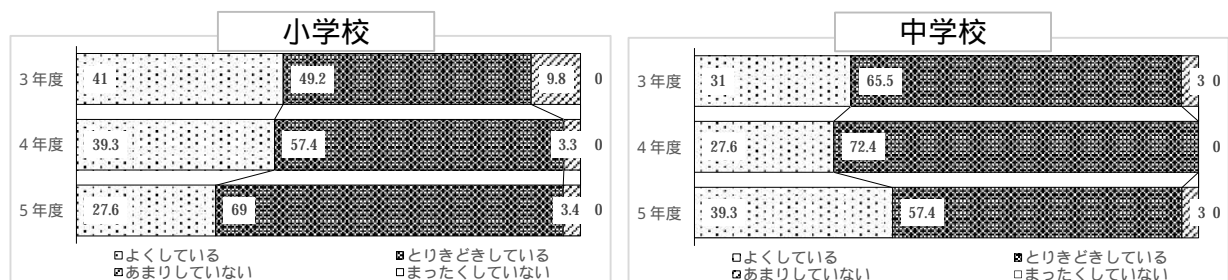
前年度までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



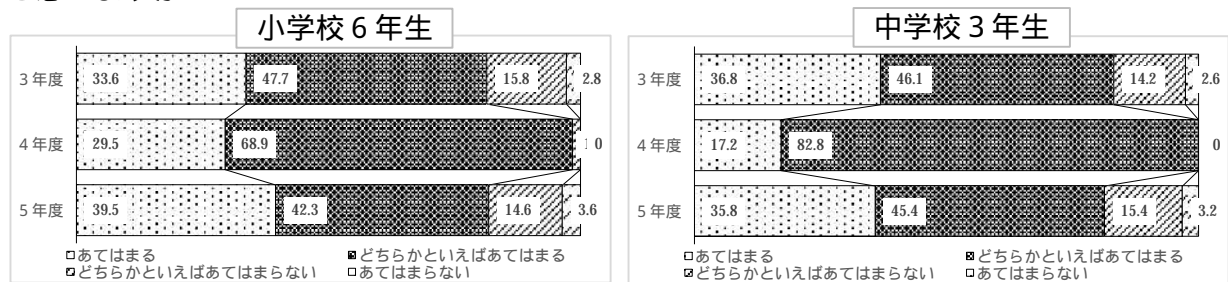
調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか <学校質問紙>



調査学年の児童・生徒に対して、前年度までに、授業において、児童・生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか <学校質問紙>



前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか



<調査結果のポイント>

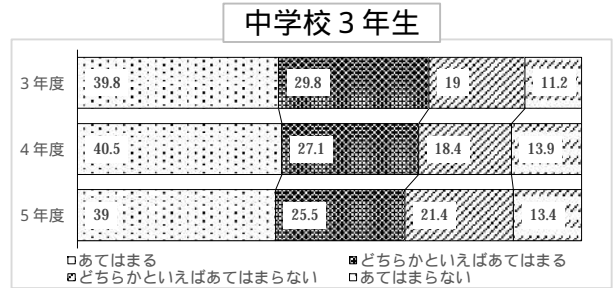
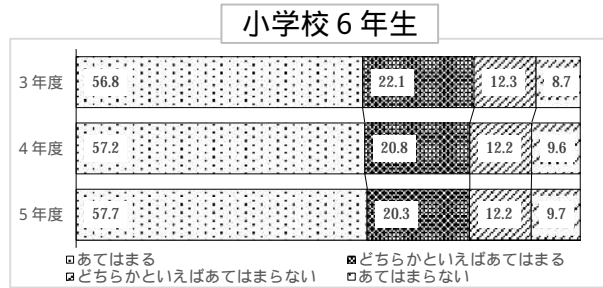
前年度までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」との質問に、「あてはまる」と回答した児童生徒の割合は小学校・中学校とも上昇傾向にある。

学校質問紙の「調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか」「調査学年の児童・生徒に対して、前年度までに、授業において、児童・生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか」との質問に、肯定的に回答した学校の割合は小学校・中学校とも非常に高い水準で横ばいの傾向にある。

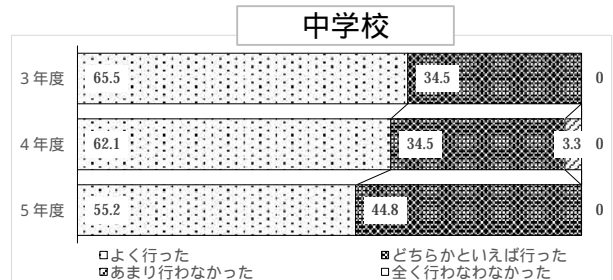
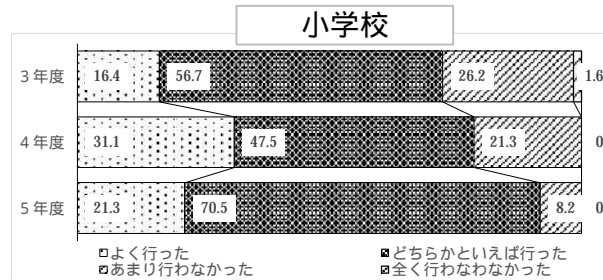
前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいたと思いますか」との質問に、「あてはまる」と回答した児童生徒の割合は小学校・中学校とも上昇した。

キャリアプランニング能力」に関わる項目

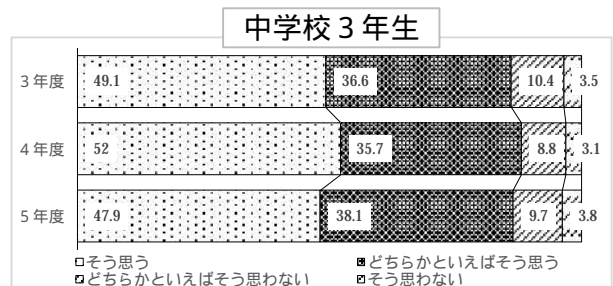
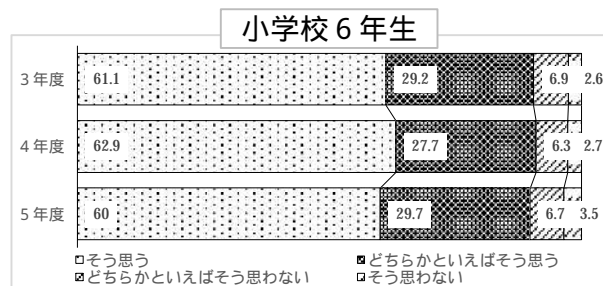
将来の夢や目標を持っていますか



調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか <学校質問紙>

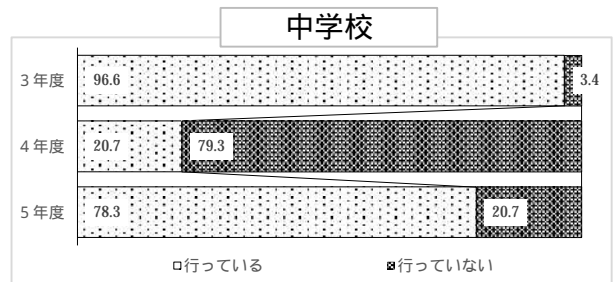
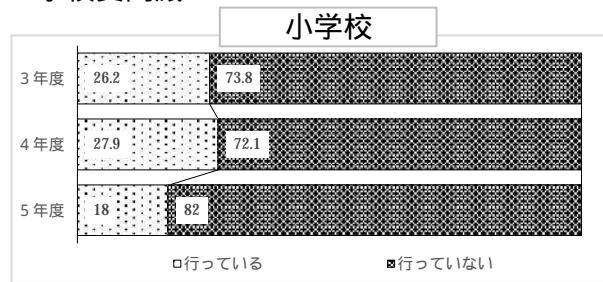


国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



(小学校) 職場見学を行っていますか <学校質問紙>

(中学校) 調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか <学校質問紙>



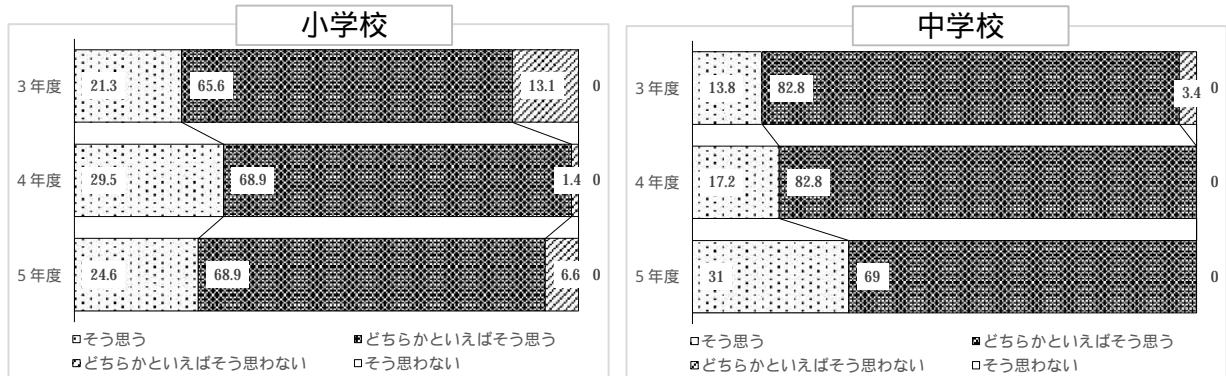
<調査結果のポイント>

「将来の夢や目標を持っていますか」との質問に、「あてはまる」と回答した児童・生徒の割合は小学校では上昇傾向、中学校では横ばいの傾向にある。
 「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか」との質問に、肯定的に回答した学校の割合は小学校では上昇傾向にあり、中学校では100%となっている。
 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」との質問に、肯定的に回答した児童生徒の割合は小学校・中学校とも横ばいの傾向である。
 算数・数学においても、同様の傾向である。
 「(小学校) 職場見学を行っていますか」との質問に、「行っている」と回答した小学校の割合は減少した。一方「(中学校) 調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか」との質問に、日数に関わらず「行っている」と回答した中学校の割合は新型コロナウイルス感染症以前の水準に迫る勢いで上昇している。

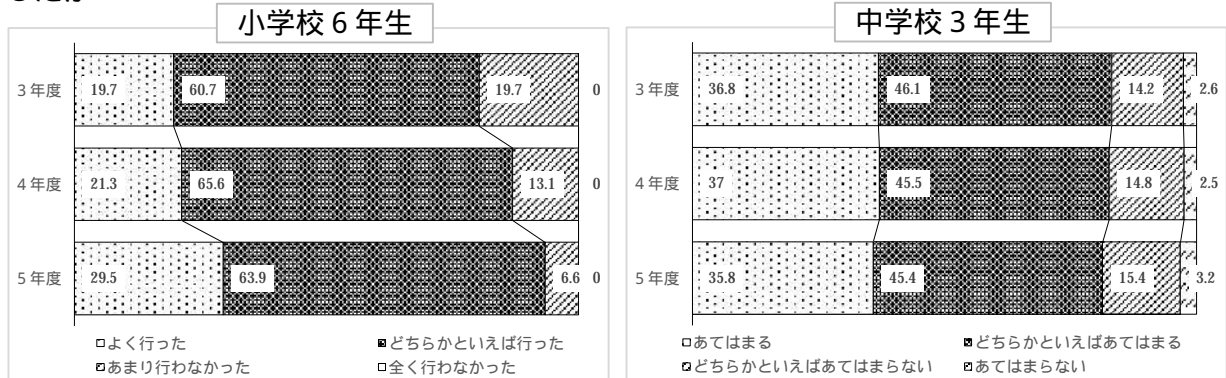
- 2 「せたがや探究的な学び」に関する視点から

「課題を見出し把握している」「課題解決の方法を考えている」に関わる項目

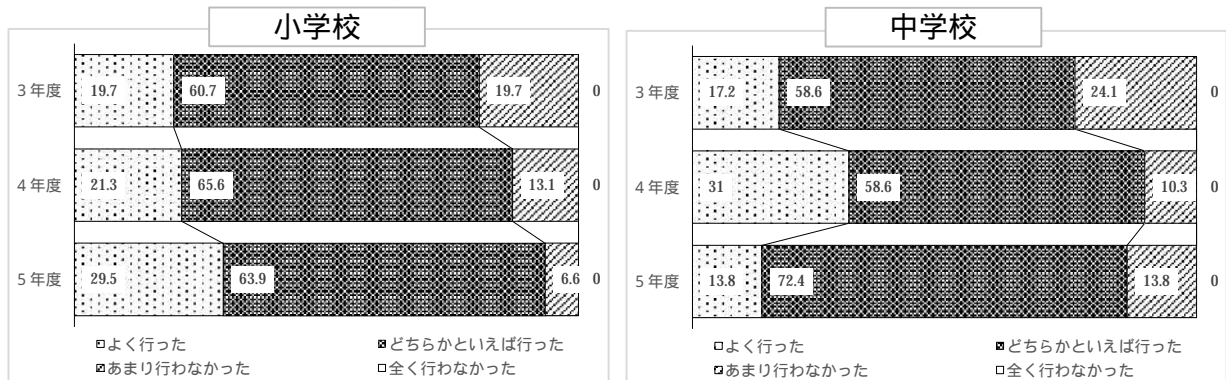
児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分の考え、自分から取り組むことができていると思いますか <学校質問紙>



前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



調査対象児童・生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか <学校質問紙>



<調査結果のポイント>

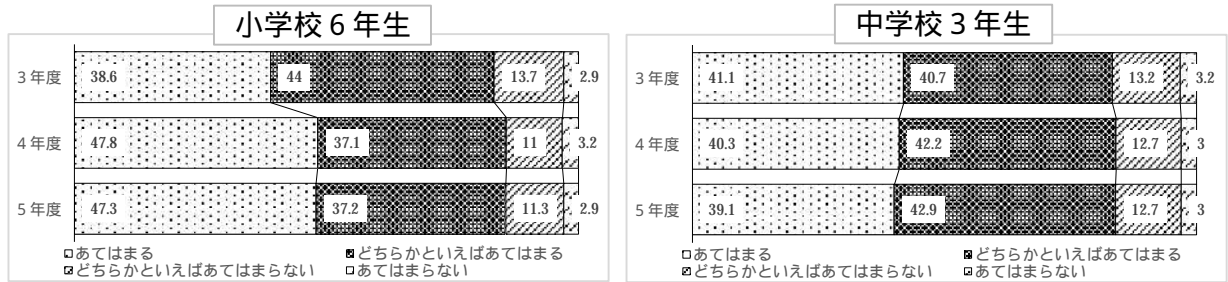
「児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分の考え、自分から取り組むことができていると思いますか」との質問に、肯定的に回答した割合は小学校でやや下降したが、中学校では100%である。

前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分の考え自分から取り組んでいましたか」との質問に、「あてはまる」と回答した児童生徒の割合は、小学校で上昇傾向にあるが、中学校ではわずかに下降している。

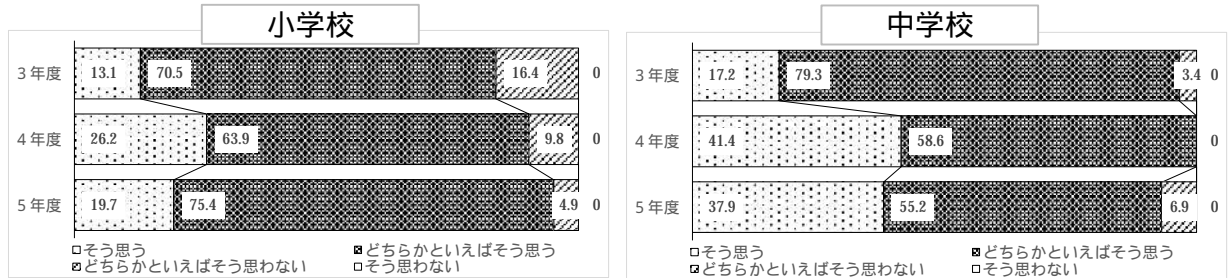
「調査対象児童・生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか」との質問に、肯定的に回答した割合は小学校で上昇傾向にあるが、中学校では下降した。

「協働して学んでいる」に関連する項目

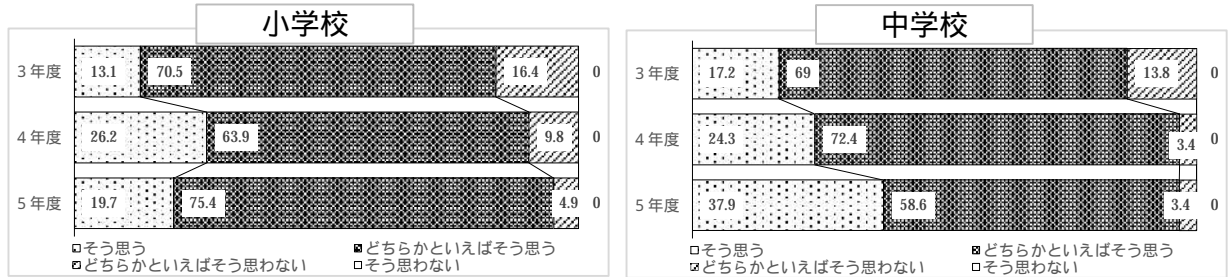
学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



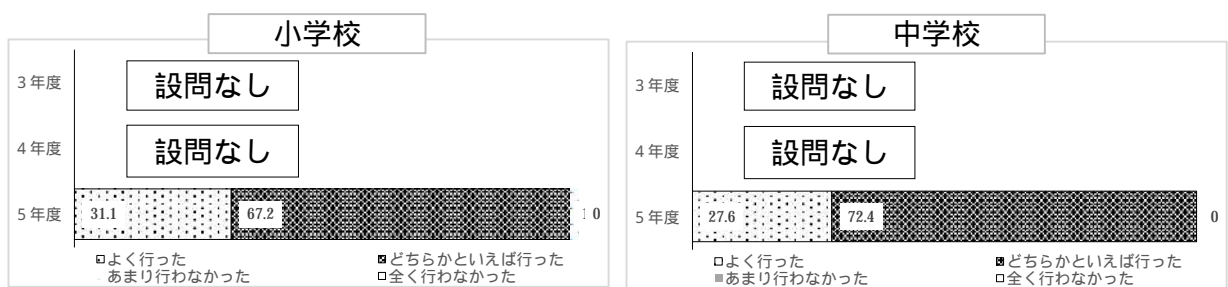
調査対象児童・生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか <学校質問紙>



調査対象児童・生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか <学校質問紙>



調査対象児童・生徒に対して、前年度までに、児童・生徒がそれぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話しあったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか <学校質問紙>



<調査結果のポイント>

「学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」との質問に肯定的に回答した児童生徒の割合は小学校・中学校とも横ばいの傾向である。

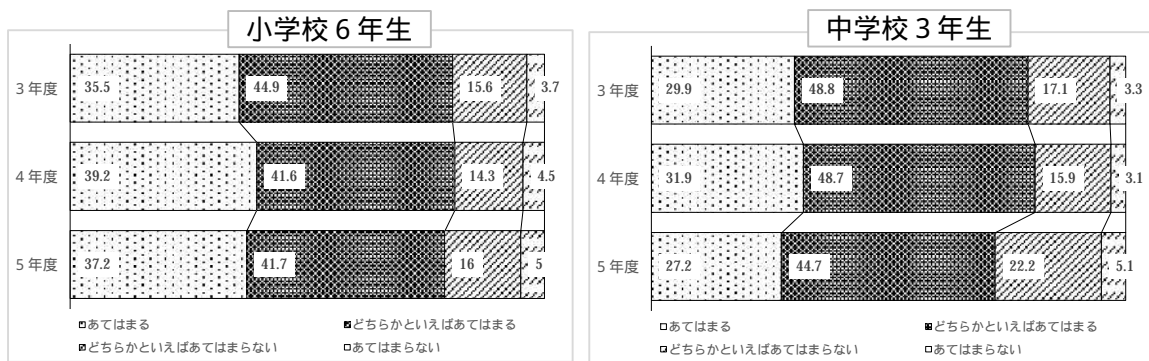
「調査対象児童・生徒は、学級やグループでの話し合いの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思うか」との質問に、肯定的に回答した学校の割合は小学校・中学校とも非常に高い水準を維持している。

「調査対象児童・生徒は、学級やグループでの話し合いの活動で相手の考えを最後まで聞くことができていると思うか」との質問に、肯定的に回答した学校の割合は上昇傾向にある。

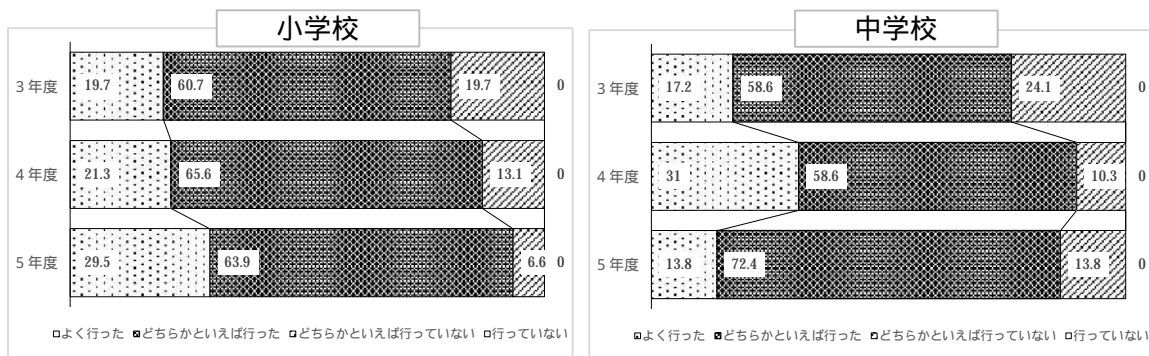
「調査対象児童・生徒に対して、前年度までに、児童・生徒がそれぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話しあったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか」との質問に、肯定的に回答した学校は100%である。

「学びを振り返り、次につなげている」に関わる項目

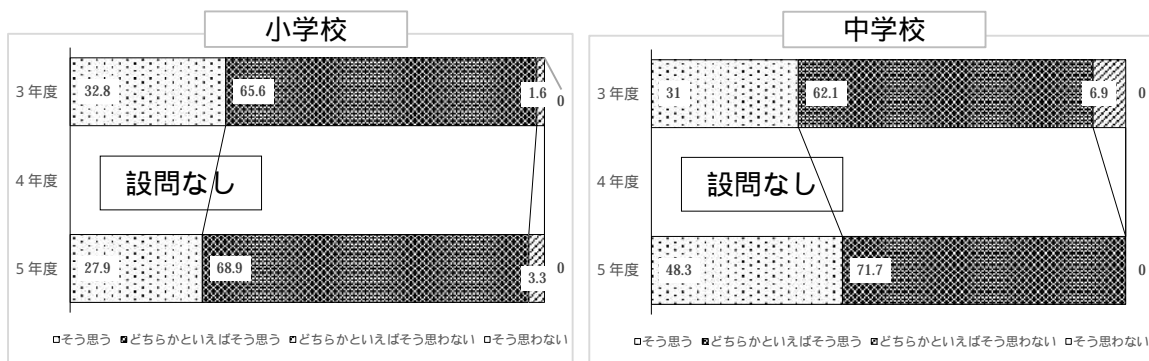
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



調査対象児童・生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか <学校質問紙>



調査対象児童・生徒に対して、前年度までに、学習評価の方針を示した上で、児童・生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童・生徒の学習改善に生かすことを心がけましたか <学校質問紙>



<調査結果のポイント>

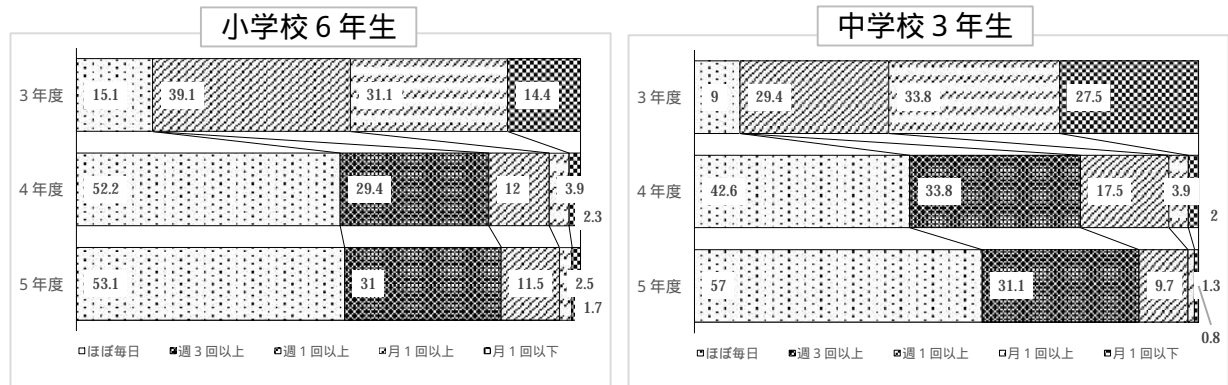
「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」との質問に、肯定的に回答した児童・生徒の割合は小学校・中学校ともわずかに下降した。

学校質問紙の「調査対象児童・生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか」との質問に、肯定的に回答した学校の割合は、小学校で上昇傾向にあるが、中学校ではわずかに下降した。

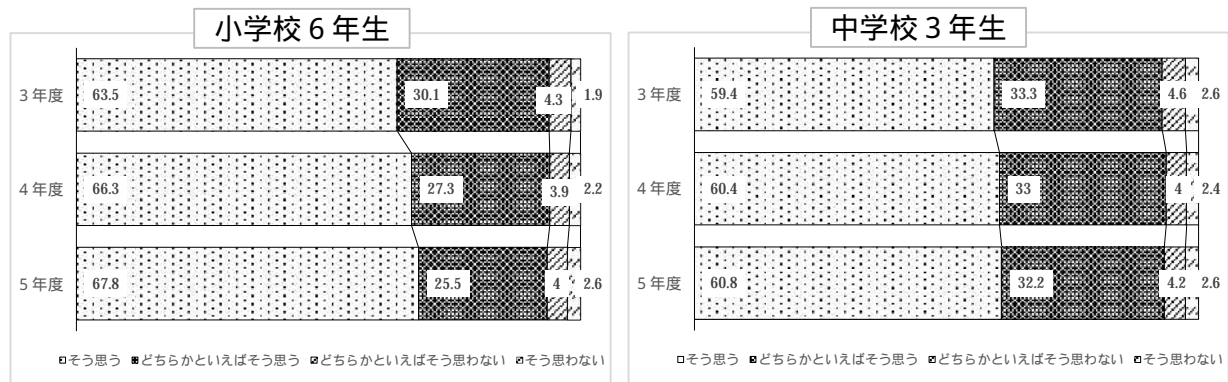
学校質問紙の「調査対象児童・生徒に対して、前年度までに、学習評価の方針を示した上で児童・生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童・生徒の学習改善に生かすことを心がけましたか」との質問に、肯定的に回答した学校は、小学校・中学校とも高い水準にあり、特に中学校では100%となっている。

- 3 ICTを活用した学習の視点から

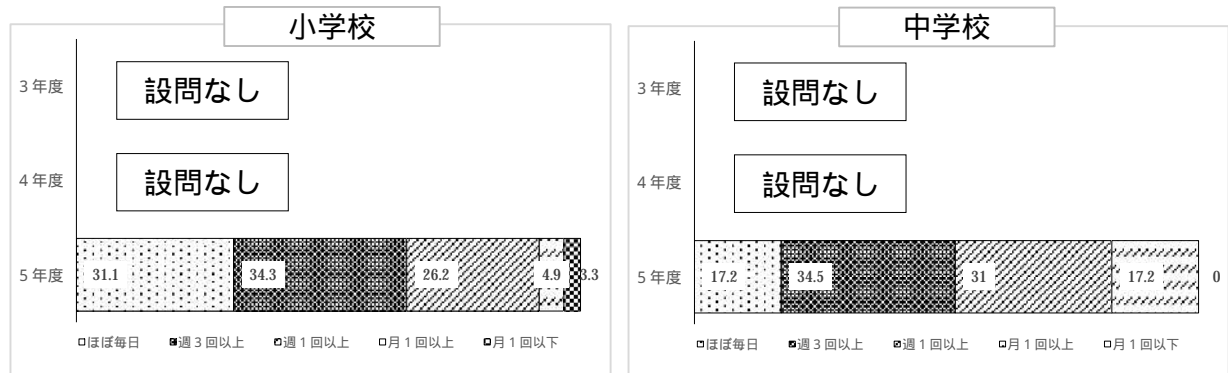
前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか



調査対象児童・生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童・生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT危機をどの程度使用させていますか
<学校質問紙>



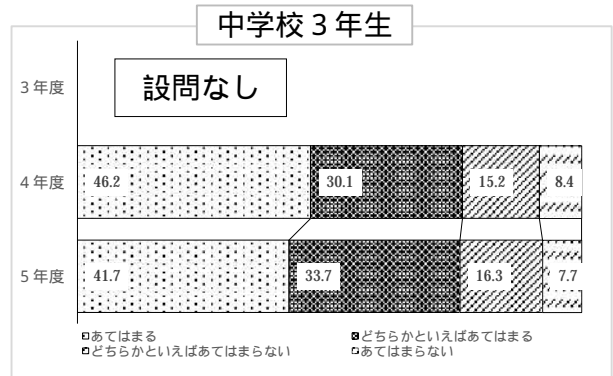
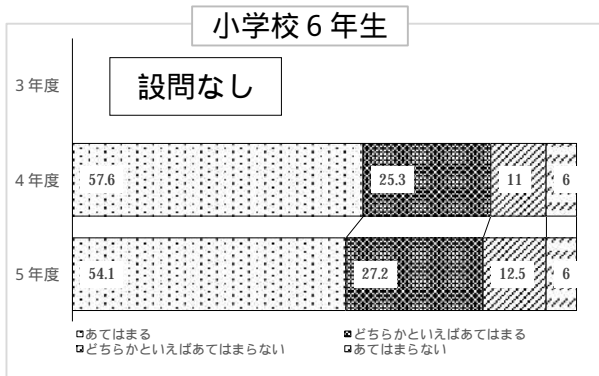
<調査結果のポイント>

前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」との質問に、「ほぼ毎日」と回答した児童・生徒の割合は小学校・中学校ともに引き続き上昇傾向にある。

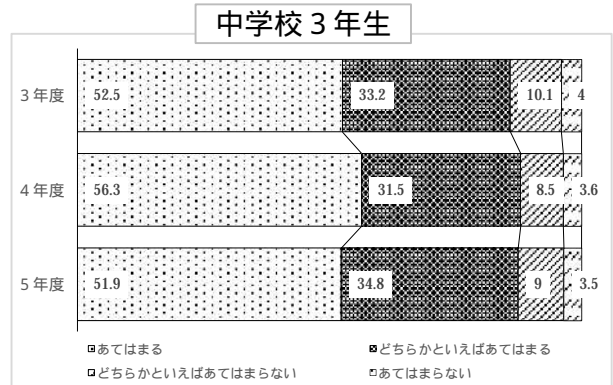
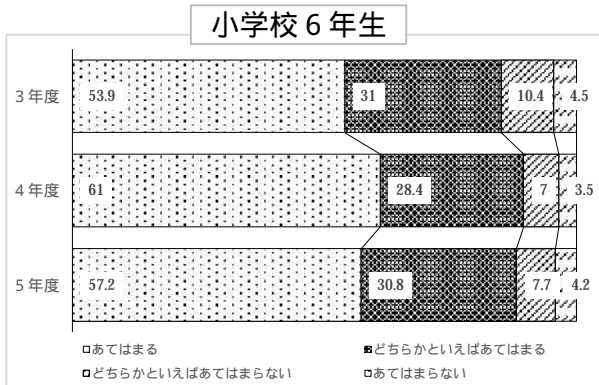
「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」の質問に「そう思う」と回答した児童生徒の割合は小学校・中学校ともに上昇傾向にある。学校質問紙の「調査対象児童・生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童・生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT危機をどの程度使用させていますか」との質問に、「ほぼ毎日」と回答した学校の割合は、小学校で3割余り、中学校で2割弱となっている。

- 4 その他

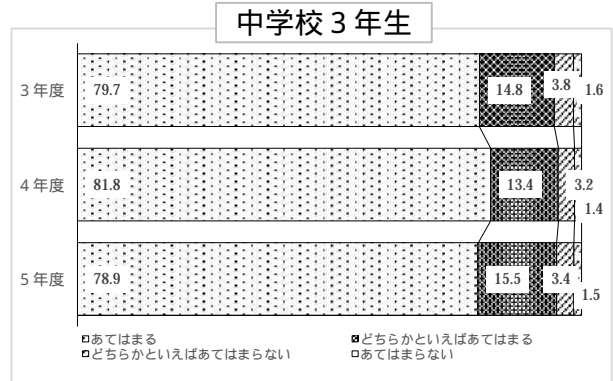
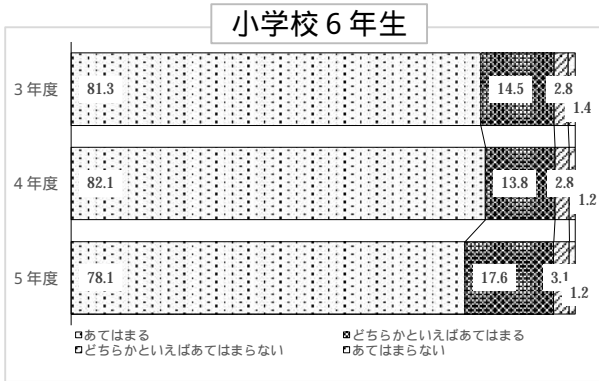
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



学校に行くのは楽しいと思いますか



いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



< 調査結果のポイント >

- 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」との質問に、肯定的に回答した児童・生徒の割合は小学校・中学校ともに横ばいである。
- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」との質問に、肯定的に回答した児童・生徒の割合は小学校・中学校ともに約9割と高い傾向にある。
 - 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」との質問に、肯定的に回答した児童・生徒の割合は小学校・中学校ともに高い水準で横ばい傾向にある。

- 5 「児童・生徒質問紙調査一覧」

「児童質問紙」

質問番号	質問事項
(1)	朝食を毎日食べていますか
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
(4)	自分には、よいところがあると思いますか
(5)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
(6)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか
(7)	将来の夢や目標を持っていますか
(8)	人が困っているときは、進んで助けていますか
(9)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
(10)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
(11)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
(12)	学校に行くのは楽しいと思いますか
(13)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
(14)	友達関係に満足していますか
(15)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか
(16)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)
(17)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)
(18)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)
(19)	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)
(20)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)
(21)	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館(それぞれ電子図書館を含む)にどれくらい行きますか
(22)	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)

(2 3)	新聞を読んでいますか
(2 4)	読書は好きですか
(2 5)	今住んでいる地域の行事に参加していますか
(2 6)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
(2 7)	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いますか
(2 8)	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか
(2 9)	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
(3 0)	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
(3 1)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)
(3 2)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
(3 3)	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
(3 4)	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
(3 5)	5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか
(3 6)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか
(3 7)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
(3 8)	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか
(3 9)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
(4 0)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
(4 1)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか
(4 2)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか
(4 3)	国語の勉強は好きですか
(4 4)	国語の勉強は大切だと思いますか
(4 5)	国語の授業の内容はよく分かりますか
(4 6)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

(4 7)	国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいますか
(4 8)	国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていますか
(4 9)	国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けていますか
(5 0)	国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか
(5 1)	算数の勉強は好きですか
(5 2)	算数の勉強は大切だと思いますか
(5 3)	算数の授業の内容はよく分かりますか
(5 4)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
(5 5)	英語の勉強は好きですか
(5 6)	英語の勉強は大切だと思いますか
(5 7)	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか
(5 8)	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、PC・タブレットなどのICT機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど)
(5 9)	家庭学習の課題(宿題)として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか
(国 1)	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか
(国 2)	解答時間は十分でしたか(国語)
(算 1)	今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか
(算 2)	解答時間は十分でしたか(算数)

「生徒質問紙」

質問番号	質問事項
(1)	朝食を毎日食べていますか
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
(4)	自分には、よいところがあると思いますか
(5)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
(6)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか
(7)	将来の夢や目標を持っていますか
(8)	人が困っているときは、進んで助けていますか
(9)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
(1 0)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
(1 1)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
(1 2)	学校に行くのは楽しいと思いますか
(1 3)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
(1 4)	友達関係に満足していますか
(1 5)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか
(1 6)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）
(1 7)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
(1 8)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
(1 9)	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか（インターネットを通じて教わっている場合も含む）
(2 0)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
(2 1)	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館（それぞれ電子図書館を含む）にどれくらい行きますか
(2 2)	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）
(2 3)	新聞を読んでいますか

(2 4)	読書は好きですか
(2 5)	学校の部活動に参加していますか
(2 6)	普段(月曜日から金曜日)、平均して何日学校の部活動に参加していますか
(2 7)	学校の部活動で、普段(月曜日から金曜日)活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか
(2 8)	学校の部活動で、土曜日や日曜日など学校が休みの日に活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか
(2 9)	今住んでいる地域の行事に参加していますか
(3 0)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
(3 1)	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか
(3 2)	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか
(3 3)	1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
(3 4)	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
(3 5)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)
(3 6)	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
(3 7)	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
(3 8)	1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
(3 9)	1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか
(4 0)	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか
(4 1)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
(4 2)	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか
(4 3)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
(4 4)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
(4 5)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか
(4 6)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか
(4 7)	国語の勉強は好きですか

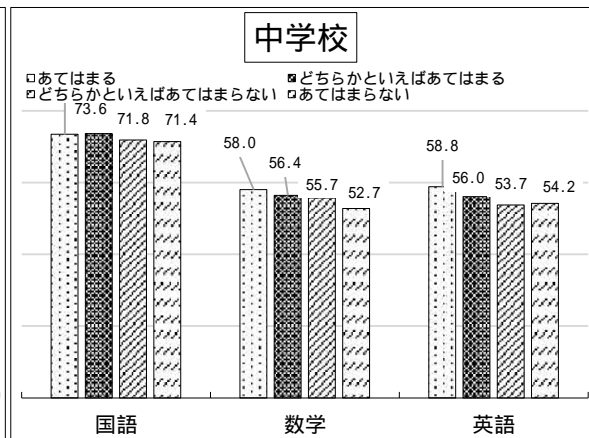
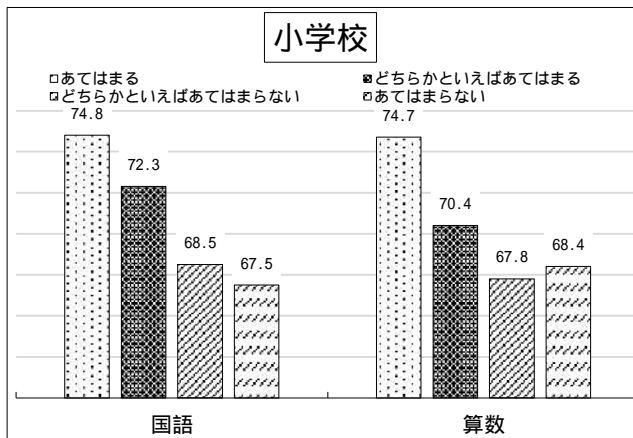
(4 8)	国語の勉強は大切だと思いますか
(4 9)	国語の授業の内容はよく分かりますか
(5 0)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
(5 1)	行書の基礎的な書き方(「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など)を理解して書いていますか
(5 2)	国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか
(5 3)	国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか
(5 4)	国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえていますか
(5 5)	数学の勉強は好きですか
(5 6)	数学の勉強は大切だと思いますか
(5 7)	数学の授業の内容はよく分かりますか
(5 8)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
(5 9)	英語の勉強は好きですか
(6 0)	英語の勉強は大切だと思いますか
(6 1)	英語の授業の内容はよく分かりますか
(6 2)	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
(6 3)	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか
(6 4)	これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど)
(6 5)	家庭学習の課題(宿題)として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか
(6 6)	1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか
(6 7)	1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか
(6 8)	1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか
(6 9)	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか
(7 0)	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか
(7 1)	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか

(7 2)	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか
(国 1)	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか
(国 2)	解答時間は十分でしたか(国語)
(数 1)	今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか
(数 2)	解答時間は十分でしたか(数学)
(英 1)	今回の英語の問題では、まとまりのある文章を書く問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか
(英 2)	解答時間は十分でしたか(英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」)
(話 1)	今回の英語の問題では、聞いたことについてまとまりのある内容を話す問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか
(話 2)	解答時間は十分でしたか(英語「話すこと」)

4 クロス集計結果から

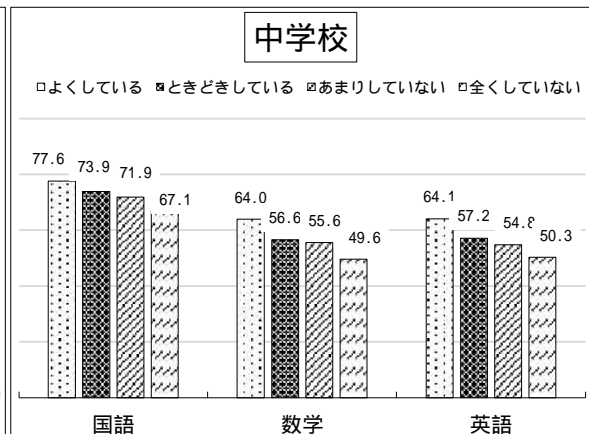
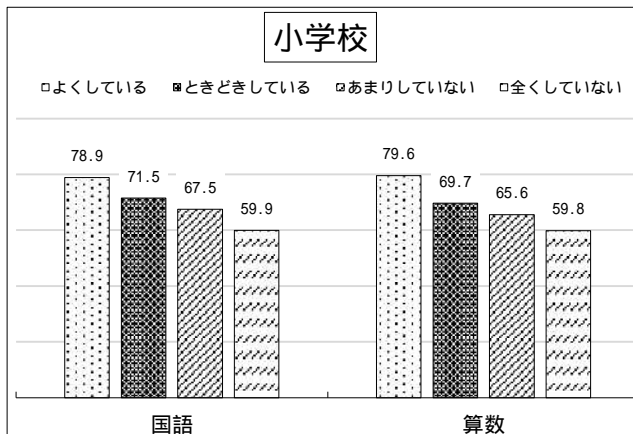
(4) 自分には、よいところがあると思いますか

選択肢		小学校		中学校				
		児童数の割合	平均正答率(%)		生徒数の割合	平均正答率(%)		
			国語	算数		国語	数学	英語
1	あてはまる	50.8	74.8	74.7	45.7	73.4	58.0	58.8
2	どちらかといえばあてはまる	35.1	72.3	70.4	38.7	73.6	56.4	56.0
3	どちらかといえばあてはまらない	9.2	68.5	67.8	11.2	71.8	55.7	53.7
4	あてはまらない	4.9	67.5	68.4	4.2	71.4	52.7	54.2



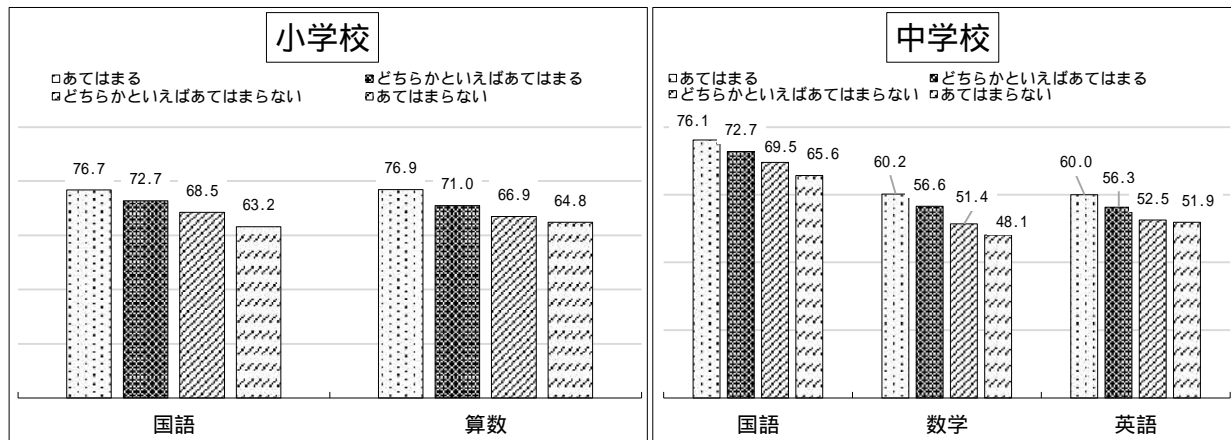
(16) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)

選択肢		小学校		中学校				
		児童数の割合	平均正答率(%)		生徒数の割合	平均正答率(%)		
			国語	算数		国語	数学	英語
1	よくしている	40.1	78.9	79.6	18.9	77.6	64.0	64.1
2	ときどきしている	35.6	71.5	69.7	40.0	73.9	56.6	57.2
3	あまりしていない	17.6	67.5	65.6	29.2	71.9	55.6	54.8
4	全くしていない	6.6	59.9	59.8	11.8	67.1	49.6	50.3



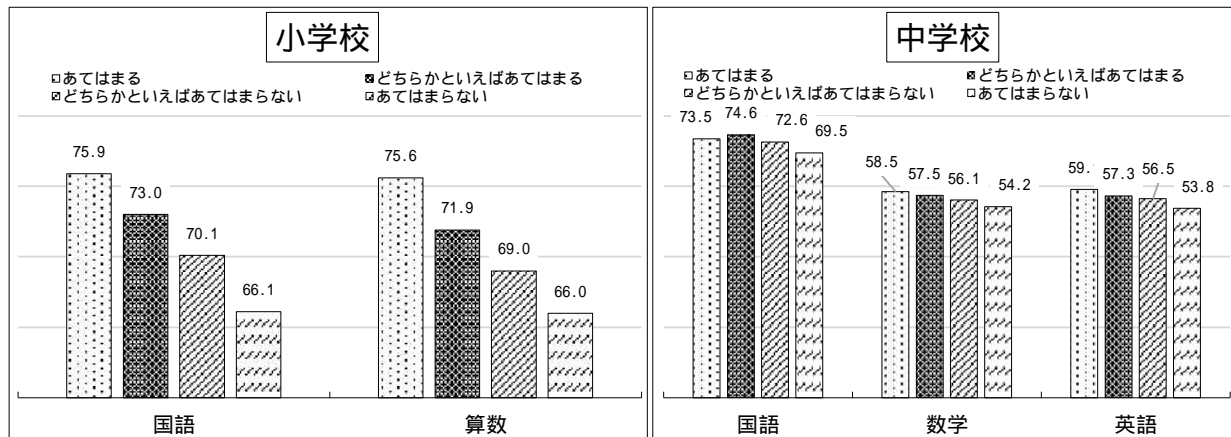
(13) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか

選択肢		小学校			中学校			
		児童数の割合	平均正答(%)		生徒数の割合	平均正答率(%)		
			国語	算数		国語	数学	英語
1	あてはまる	38.9	76.7	76.9	39.5	76.1	60.2	60.0
2	どちらかといえばあてはまる	39.0	72.7	71.0	41.3	72.7	56.6	56.3
3	どちらかといえばあてはまらない	16.2	68.5	66.9	15.0	69.5	51.4	52.5
4	あてはまらない	5.9	63.2	64.8	3.6	65.6	48.1	51.9



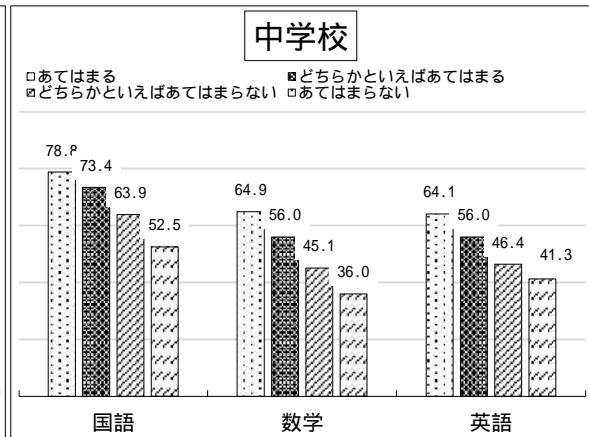
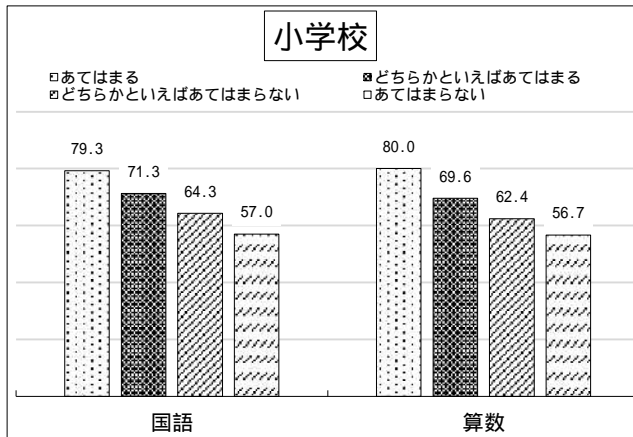
(26) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思えますか

選択肢		小学校			中学校			
		児童数の割合	平均正答(%)		生徒数の割合	平均正答率(%)		
			国語	算数		国語	数学	英語
1	あてはまる	35.4	75.9	75.6	19.2	73.5	58.5	59.1
2	どちらかといえばあてはまる	39.9	73.0	71.9	41.7	74.6	57.5	57.3
3	どちらかといえばあてはまらない	16.9	70.1	69.0	26.2	72.6	56.1	56.5
4	あてはまらない	7.7	66.1	66.0	12.7	69.5	54.2	53.8



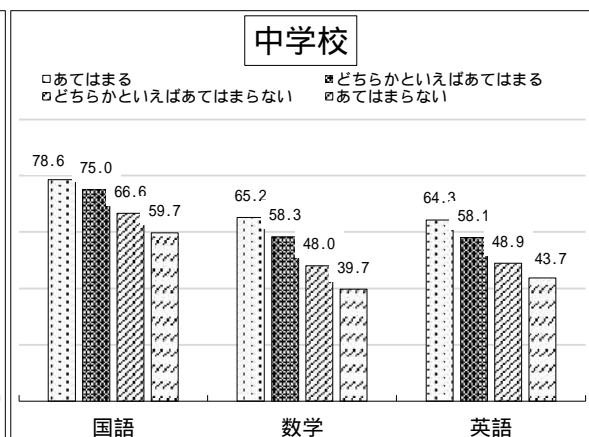
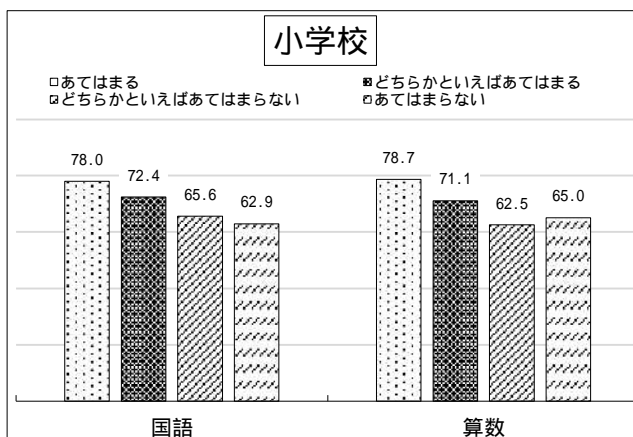
(33) 前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

選択肢		小学校			中学校			
		児童数の割合	平均正答率(%)		生徒数の割合	平均正答率(%)		
			国語	算数		国語	数学	英語
1	あてはまる	39.6	79.3	80.0	35.9	78.8	64.9	64.1
2	どちらかといえばあてはまる	42.5	71.3	69.6	45.3	73.4	56.0	56.0
3	どちらかといえばあてはまらない	14.4	64.3	62.4	15.4	63.9	45.1	46.4
4	あてはまらない	3.4	57.0	56.7	3.3	52.5	36.0	41.3



(37) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

選択肢		小学校			中学校			
		児童数の割合	平均正答率(%)		生徒数の割合	平均正答率(%)		
			国語	算数		国語	数学	英語
1	あてはまる	37.3	78.0	78.7	27.2	78.6	65.2	64.3
2	どちらかといえばあてはまる	41.9	72.4	71.1	44.7	75.0	58.3	58.1
3	どちらかといえばあてはまらない	16.0	65.6	62.5	22.2	66.6	48.0	48.9
4	あてはまらない	4.8	62.9	65.0	5.1	59.7	39.7	43.7



「自分にはよいところがありますか」や「自分とちがう意見について考えることは楽しいと思いますか」等と学力の相関については、肯定的に回答している児童・生徒の学力が高い傾向であることがわかった。今後、自己肯定感を高めることや他者の考えを尊重する態度の育成に取り組んでいくことが重要である。

參考資料

【カード①】

6月24日

- ・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。
- ・このまま雑草が増えたら米のしゅうかくにえいしょうするのではないかと心配だ。

【カード②】

6月30日

- ・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。
- ・調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。
- ・調査さかん 7月1日～15日

【カード③】

7月19日

- ・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが追いついていないと考えられる。
- ・雑草の量と米のしゅうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。

【カード④】

7月20日

[農家の石山さんのお話]

- ・雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。
- ・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
- ・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日

[学校でできる解決方法]

- ・雑草取りの回数を増やす。
- ・雑草取りの人数を増やす。

【川村さんの考え】

雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りのときに記録していたカードの中から選んだカードをもとに、米作りに興味のある人に向けて、問題点とその解決方法を書こう。

1

川村さんは、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こうとしています。次は、【川村さんの考え】と川村さんが選んだ【カード①】から【カード⑤】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。



川村さん

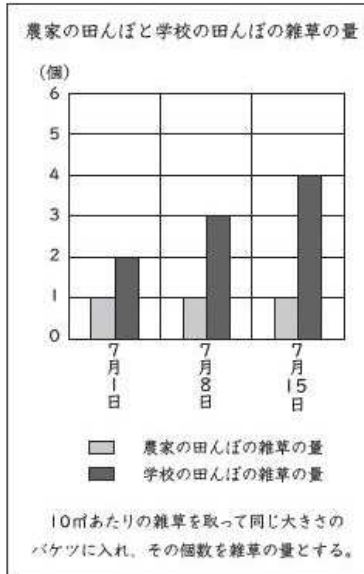
【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下じゆんに学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア いがい に雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと イ くらべて みました。ウ きかん は7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。



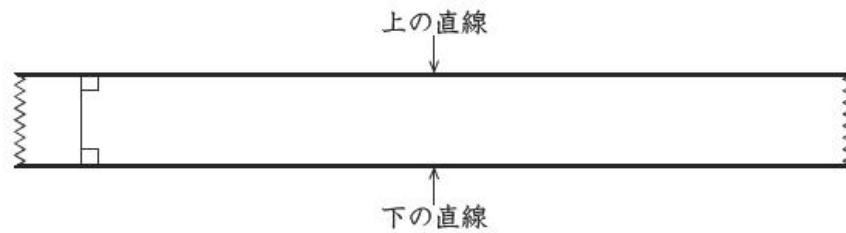
このようなことに取り組み、9月の下じゆんにお米をしゅうかくすることができました。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の【川村さんの文章】の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

に学校の米作りの
に入る内容を

2

えいたさんたちは、テープを持っています。テープの上の直線と下の直線
は平行で、テープのはばはどこも等しくなっています。



えいたさんたちは、下のようにテープを直線で切って、いろいろな図形を
つくりました。

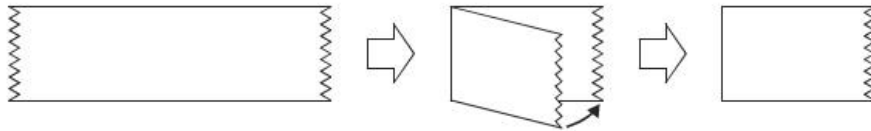


切り方によって、いろいろな図形ができますね。

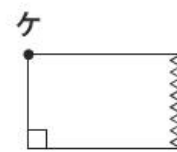
(3) えいたさんたちは、下のようにつくり方で三角形をつくります。

【えいたさんのつくり方】

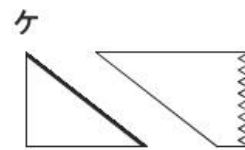
① 下の図のように、テープを折って、下の直線が重なるようにします。



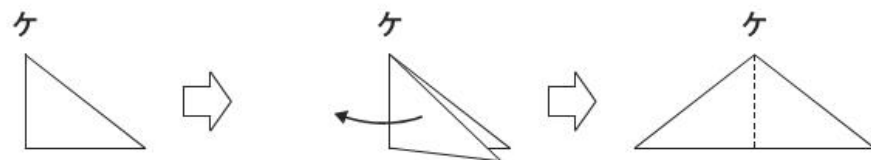
② 右の図のように、折り目のはしを点ケとします。



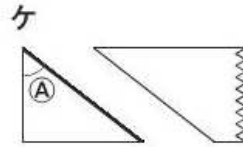
③ 折って重ねたまま、点ケを通るななめの直線で切ります。



④ 開くと三角形ができました。

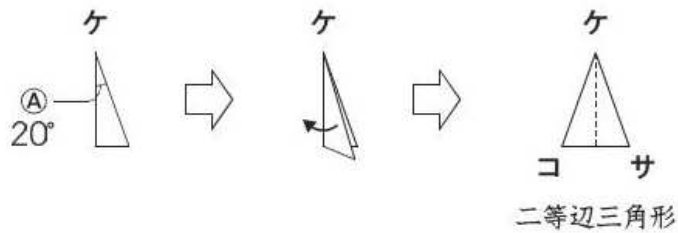


ゆいなさんとわたるさんは、【えいたさんのつくり方】の③の図で、下の①の角の大きさをそれぞれちがう大きさにしました。



ゆいな

わたし
私は、①の角の大きさを 20° にしました。切って開いた三角形ケコサは、二等辺三角形になりました。



わたる

私は、切って開いた三角形を正三角形にするために、①の角の大きさをゆいなさんとちがう大きさにして切りました。

切って開いた三角形を正三角形にするには、①の角の大きさを何度にする
ればよいですか。

答えを書きましょう。

4

石井さんは、国語の時間に、「竹取物語」を読みました。そのあと、学校図書館で、現代語で書かれた「竹取物語」を見つけ、読み比べてみました。次は、【授業で読んだ「竹取物語」の一部】の【原文】とその【現代語訳】、【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【授業で読んだ「竹取物語」の一部】

〈原文〉

今は昔、竹取の翁おきなといふものありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきの造みやづことなむいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒つつの中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとつくしうてゐたり。

〈現代語訳〉

今ではもう昔のことだが、竹取の翁という者がいた。野や山に分け入って竹を取っては、いろいろなことに使っていた。名前を、さぬきのみやつこといった。その竹の中に、根もとの光る竹が一本あった。不思議に思っ、近寄って見ると、筒の中が光っている。それを見ると、三寸ほどの人が、とてもかわいらしい様子で座っている。

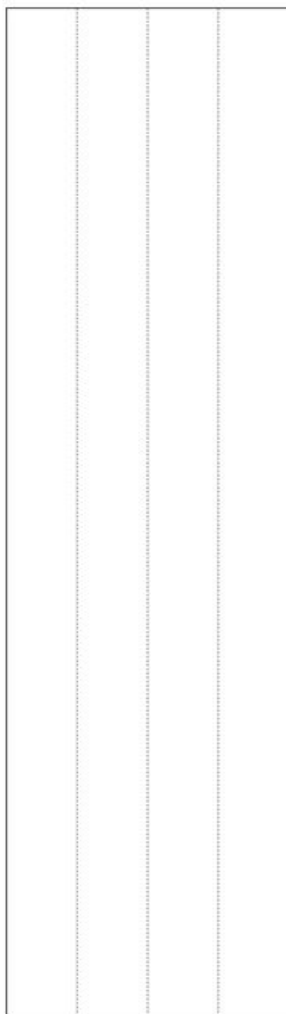
【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】

(星新一「竹取物語」による。)

三 【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】は、古典の作品である「竹取物語」に、作家の星新一が工夫を加えて現代語で書いたものです。どこがどのように工夫されていると考えられますか。【授業で読んだ「竹取物語」の一部】や【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。



7 イチョウの木の大部分の葉が黄色に変わった最初の日を黄葉日^{ちゅうようび}といいます。一花さんと啓太さんは、黄葉日が以前と比べるとだんだん遅くなってきている傾向にあることをニュースで知り、二人が住む地域も同じ傾向にあるのかが気になりました。そこで、二人が住む地域の黄葉日を調べたところ、1961年から2020年までの60年分の記録がありました。

二人は、黄葉日の傾向を調べるために、各年の黄葉日を9月30日からの経過日数で表すことにしました。このとき、経過日数は10月1日が1日となり、10月31日は31日、11月1日は32日となります。

そして、二人は次のような表にまとめました。

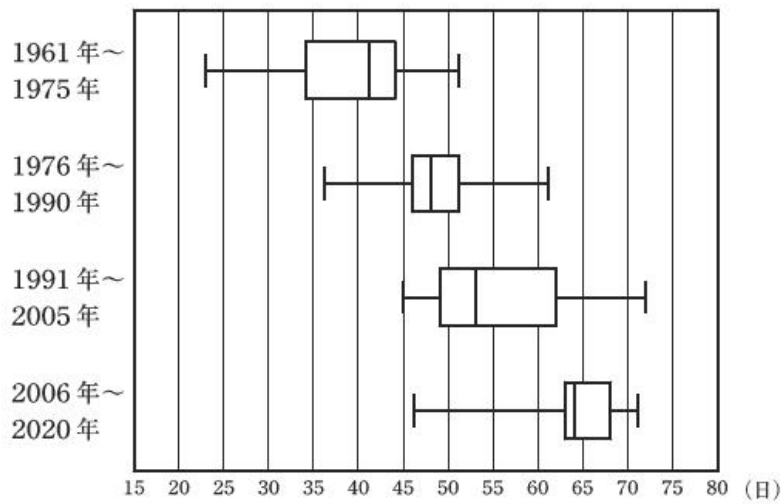
各年の黄葉日

年	黄葉日	経過日数(日)
1961	10月23日	23
1962	11月10日	41
1963	11月10日	41
1964	11月13日	44
1965	11月12日	43
⋮	⋮	⋮
2019	12月10日	71
2020	12月4日	65

二人は、上の表を見て、経過日数が年によって大きくなったり小さくなったりしていることに気づきました。そこで、60年分の経過日数を何年かごとのまとまりで分けて箱ひげ図で表し、それぞれの分布の傾向を比較することにしました。

次のページの黄葉日までの経過日数の分布は、15年ごとのまとまりとして1961年～1975年、1976年～1990年、1991年～2005年、2006年～2020年の4つに分けてまとめたものです。

黄葉日までの経過日数の分布



	経過日数(日)				
	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
1961年～1975年	23	34	41	44	51
1976年～1990年	36	46	48	51	61
1991年～2005年	45	49	53	62	72
2006年～2020年	46	63	64	68	71

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

- (1) 1961年～1975年の四分位範囲を求めなさい。

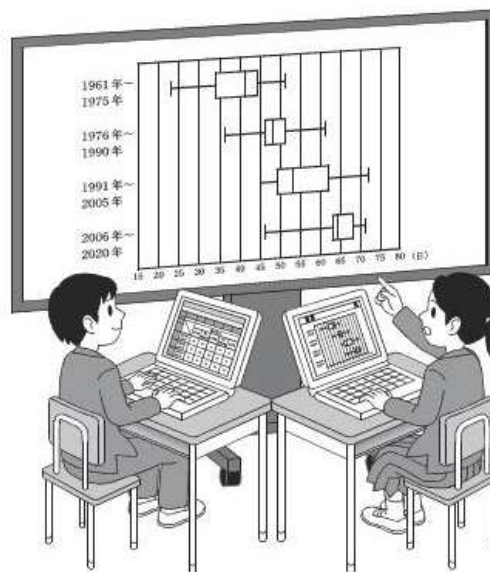
(2) 二人は、前ページの箱ひげ図を見て、話し合っています。

一花さん「4つの箱ひげ図を見ると、黄葉日はだんだん遅くなっている傾向がありそうだね。」

啓太さん「でも、1991年～2005年と2006年～2020年の箱ひげ図は、右端と左端が同じくらいの位置にあるよ。遅くなっているといえるのかな。」

一花さん「確かに箱ひげ図の右端と左端についてはそうだけど、箱に着目すれば、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあるといえるのではないかな。」

前ページの箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2020年の2つの箱ひげ図の箱に着目して説明しなさい。



中数-13

- 10** あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを公開しています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

※ 短縮形（I'm や don't など）は1語と数え、符号（, や ? など）は語数に含めません。

(例) No, I'm not. 【3語】